

～美ら島の未来を拓く～沖縄総合事務局
定例記者会見（４月）

平成２８年４月２１日（木）１４：００～
沖縄総合事務局６階「特別会議室」

【発表事項】

- １．『平成２８年度「消費者の部屋」特別展示のスケジュール』について
- ２．『沖縄周辺海域における外国漁船の集中取締りの実施』について
- ３．『ビッグデータを活用した
地域経済分析システム「RESAS」の利活用事例集の公表』について
- ４．『沖縄県内に寄港するクルーズ船の２０１６年の見込み』について
- ５．『中城湾港新港地区東ふ頭岸壁 暫定供用開始 歓迎式』について
- ６．『那覇空港滑走路増設事業の進捗状況』について
- ７．『小学生向けダム学習教材を作成（羽地ダム）』について
- ８．『全国で小型船舶に対する安全キャンペーンを実施』について

出席者 沖縄総合事務局

局 長

次 長

次 長

総務部長

農林水産部長

経済産業部政策課長

開発建設部長

運輸部長

久保田 治

仲 程 倫 由

柳 橋 則 夫

山 谷 英 之

遠 藤 順 也

水 野 毅

成 瀬 英 治

坪 井 史 憲

平成28年4月21日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

平成28年度「消費者の部屋」特別展示の スケジュールについて

当局農林水産部では、庁舎1階に「消費者の部屋」を常設し、農林水産行政、農業生産、食生活等に関する情報の提供を幅広く行っていますが、これに加えて、農林水産業に関する各種イベント・月間等に合わせた特別展示を行っています。
この度、平成28年度特別展示の実施スケジュールを決定しましたので、御案内します。

1. スケジュール

平成28年6月から平成29年2月までの間、1週間単位で計8回開催する予定です。（詳しくは、別紙「平成28年度 特別展示実施スケジュール」を御覧ください。）

2. 内 容

沖縄の主産品であるさとうきびやパインアップルなどの農産物や肉用牛などの生産状況、農業農村整備事業による地下ダム等の整備状況のほか、食生活の改善につながる食育などについて、パネルやビデオ等で紹介します。

また、沖縄の農産物の実物展示、これを原料とした加工食品の試食、地下ダム等の模型展示など、沖縄の農林水産業や当局の取組について、御来場の皆さまにわかり易く御理解いただける楽しい企画も実施します。

3. 場 所

行政情報プラザ・消費者の部屋

（那覇市おもろまち2-1-1「那覇第2地方合同庁舎2号館1階」）

【参考】平成27年度特別展示等の状況



（うないパワー（女性
農業者）のパネル展）

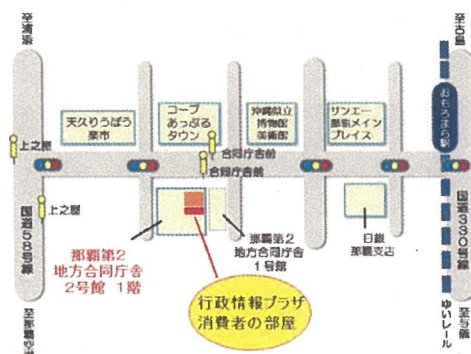


（ハーベスターの展示）



（さとうきびの実物展示）

【地図】



問い合わせ先
内閣府沖縄総合事務局
農林水産部消費・安全課
担当者：大浦・玉城・川田
TEL：098-866-1672
FAX：098-860-1195

沖縄総合事務局農林水産部「消費者の部屋」

平成28年4月21日現在

平成28年度 特別展示スケジュール



	期間	特別展示名	展示内容
1	6月1日 ～ 6月7日	食育パネル展	毎年6月は「食育月間」です。 食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践するため、食育のパネル展を開催します。 また、栄養士によるフードモデルを使った食事バランスチェックや農林漁業体験も紹介します。
2	9月13日 ～ 9月16日	さとうきびに関するパネル展 ～沖縄の宝 さとうきびの品種と砂糖の製造等について～	沖縄の基幹作物であるさとうきびは多くの品種があり、それぞれの品種の特性を紹介します。また砂糖ができるまでの工程、県内の製糖工場等もパネル等で紹介します。
3	10月17日 ～ 10月21日	統計データから見た沖縄の農林水産業	10月18日の「統計の日」にちなみ、沖縄総合事務局が実施している農林水産統計調査の結果を基に、沖縄県の農林水産業について分かりやすくグラフ等にしたパネル展を開催します。
4	11月21日 ～ 11月25日	沖縄地域6次産業化推進パネル展	6次産業化事業計画の認定を受けた県内の事業者について、パネルで紹介するとともに、開発された新商品が試食・試飲できるコーナーも用意します。
5	11月28日 ～12月2日	肉用牛のパネル展 ～肉用牛についてもっと知ろう～	県内の肉用牛の飼養状況、子牛セリ価格、出荷状況等について、全国との比較を交え分かりやすくパネルにして展示。また、県内及び全国の銘柄牛について、その特色などを紹介します。
6	12月6日 ～ 12月9日	沖縄の農産物に関するパネル展	県内各地で地域特性を活かして生産される農産物について、生産の動向、産地の形成、生産技術等をパネルにより展示するとともに、DVDにより分かりやすく紹介します。
7	12月12日 ～ 12月16日	沖縄における農業農村整備事業 ～国営伊江農業水利事業による地下ダム等の供用開始～	沖縄総合事務局では、干ばつ被害の軽減や農業経営の安定化を図るため、農業農村整備事業を実施しています。 今回、平成16年度から整備が進められてきた国営伊江農業水利事業による地下ダム等の供用が開始されることとなりましたので、その内容をパネル、模型、ビデオ等で紹介します。
8	2月6日 ～ 2月10日	食品安全行政 ～農場から食卓まで安全に～	沖縄総合事務局では、農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上に取り組んでいます。 米や牛のトレーサビリティ、食品表示、消費者への情報提供など、食品安全行政の取組を分かりやすく展示します。

* 特別展示の時間は、9時から17時までです。ただし、展示最終日は9時から15時までです。

* この特別展示スケジュールは、都合により追加・変更されることがあります。



平成28年4月21日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

沖縄周辺海域における外国漁船の集中取締りの実施について (水産庁・沖縄総合事務局外国漁船合同対策本部)

沖縄周辺海域におけるまぐろの盛漁期(平成28年4月から7月末まで)の間、沖縄等の我が国漁業者が外国漁船とのトラブルなく安心して操業できるよう、昨年度に続き、漁業取締船と取締航空機を日台民間漁業取決め適用水域周辺海域や八重山周辺海域に重点的に配備し、監視・取締りを強化します。

1. 集中取締りの背景

沖縄周辺海域での日本と台湾の漁業関係においては、平成25年4月に「日台民間漁業取決め」が署名され、平成26年1月には「日台民間漁業取決め適用水域における操業ルール」が合意され、遵守すべき操業ルールが作られました。これ以降、毎年、日台漁業委員会において、操業ルールについての協議が行われています。

2. 実施時期

平成28年4月から7月末まで

3. 実施機関

水産庁・沖縄総合事務局外国漁船合同対策本部
(所在地：那覇第2地方合同庁舎1号館)

4. 取締体制

- ・ 通常期における漁業取締船に加え、水産庁本庁から漁業取締船を派遣
- ・ 取締航空機による監視
- ・ 水産庁からの取締要員の派遣

【参考】

水産庁及び沖縄総合事務局による沖縄周辺海域における外国漁船の拿捕件数

年	H23	H24	H25	H26	H27
件数	1	3	4	3	2

【問い合わせ先】

水産庁・沖縄総合事務局外国漁船合同対策本部
担当者：今村
電話：098-988-1916

ビッグデータを活用した地域経済分析システム

「RESAS」の利活用事例集の公表について

～沖縄管内から豊見城市及び南城市の2事例が採択～

自治体による地方創生の取組を情報面から支援するため、官民のビッグデータを集約し、可視化するシステム「地域経済分析システム(RESAS：リーサス)」が、経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）の連携の下に提供されています。この度、同システムの提供開始1周年を機に、自治体における利活用事例が取りまとめられましたので、公表します。本事例集に取り上げられた優良事例19件の内、沖縄管内からは、豊見城市及び南城市の2件の事例が採択されております。

沖縄総合事務局経済産業部としては、本事例集が、データに基づく新たな行政の在り方のモデルケースとして、より効果的な地域経済産業施策の検討・立案が更に促進されるとともに、施策立案の背景やプロセスを地域の皆様にも知っていただき、理解を深めていただく一助になることを期待しています。

1. 「地域経済分析システム(RESAS：リーサス)」の利活用

経済産業省は、内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）と連携し、産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビッグデータを集約し、可視化するシステムとして、昨年4月21日より、「地域経済分析システム(RESAS：リーサス)」を提供しています。

(URL：<https://resas.go.jp/> ※ブラウザは、Google Chrome を御利用下さい。)

この度、経済産業省では、自治体の取組を調査し、本システムを用いて地域の分析を行うとともに、そこから得られる情報に基づいて政策・施策の検討・立案に結びついた19の事例を取りまとめました。本事例集が、データに基づく新たな行政の在り方のモデルケースとして、政策・施策の検討・立案に至るまでの背景やプロセスを多くの自治体や国民の皆様幅広く知っていただき、また、御活用いただくきっかけになればと考えています。

2. 沖縄県における利活用事例

○沖縄県豊見城市 <医療産業を中心とした産業振興に関する分析 他>

人口動態から豊見城市の課題分析を行い、雇用者所得の地域外からの流入額が大きいことが分かり、豊見城市がベッドタウン型の都市であることがRESASの分析によって再確認されました。また、医療業や飲食店、宿泊業など市内に集積する産業間の連携を図り、医療ツーリズムを軸として産業振興していくことの有効性が分析により示唆されました。

○沖縄県南城市 <農業と観光産業の連携に関する分析 他>

南城市の強みである農水産業の方向性として、付加価値額の高い食料品製造業や観光資源の1つとなっているカフェなどの飲食店との連携が有効であることが示唆されました。また、流動人口の分析により、南城市の観光資源の分析を行うことができました。

沖縄県南城市.pdf

(問い合わせ先：南城市政策調整課 TEL 098-948-7229)

※ 事例の詳細につきましては、上記自治体に直接お問い合わせください。

3. 今後の取組

本年度も、自治体における「地域経済分析システム」の先進・優良利活用事例を調査し、取り上げていく予定です。また、当局では、本システムの活用促進に向け、システムの操作等に関する地方公共団体職員等からの相談窓口となる専門的な職員を配置し、本システムに関する利用支援を行っております。自治体の方は、是非お気軽に御相談ください。

【参考】

全国の事例については、経済産業省ウェブサイトをご参照ください。

- 経済産業省 HP : <http://www.meti.go.jp/press/2016/04/20160421002/20160421002.html>

問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局

経済産業部企画振興課

担当者：宮平、玉城、宮城

TEL：098-866-1727

FAX：098-860-1375

RESAS (リーサス：地域経済分析システム) の概要

目的

- 人口減少、過疎化が構造的に進展し、疲弊する地域経済を真の意味で活性化させていくためには、自治体が、**地域の現状・実態を正確に把握**した上で、**将来の姿を客観的に予測**し、その上で、**地域の実情・特性に応じた、自発的かつ効率的な政策立案**とその実行が不可欠。
- このため、国が、**地域経済に係わる様々なビッグデータ**（企業間取引、人の流れ、人口動態、等）を収集し、かつ、わかりやすく「見える化（可視化）」するシステムを構築することで、自治体による様々な取組における、真に効果的な**計画の立案、実行、検証（PDCA）**を支援する。

RESASを用いて把握できること（一例）

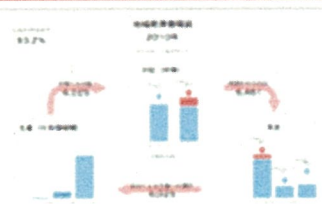
①産業マップ



企業数・雇用・売上
で地域を支える
産業が把握可能に

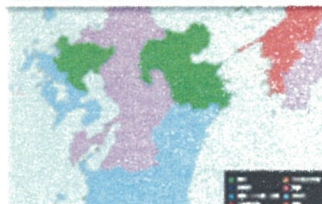
行政区域を超えた
産業のつながりが
把握可能に（※）

②地域経済循環マップ



自治体の生産・
分配・支出にお
けるお金の流
入・流出が把握
可能に

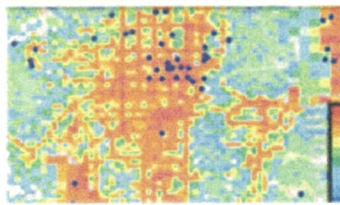
③農林水産業マップ



農業部門別の販売
金額割合が把握可
能に

農業経営者の年齢
・農地の利用状況
が把握可能に

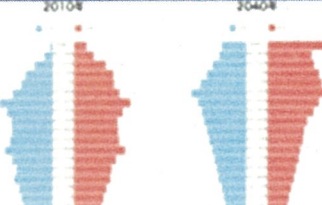
④観光マップ



どこからどこに
人が来ているか
把握可能に

インバウンド観
光動向が把握可
能に

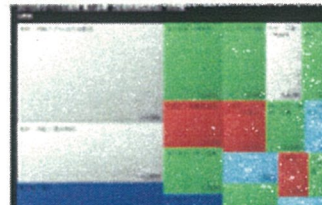
⑤人口マップ



人口推計・推移、
人口ピラミッド、
転入転出を合算
して把握可能に

地域の少子化と
働き方の関係が
把握可能に

⑥消費マップ



飲食料品や日用
品の購入金額・
購入点数の商品
別シェアが把握
可能に

⑦自治体比較マップ



各種指標を他の
自治体と比較し、
自らの位置付け
を把握可能に

（※）企業間取引データは、国および地方自治体の職員が一定の制約の下で利用可能な「限定メニュー」

豊見城市は、沖縄県豊見城市にあり、人口は約2万人、面積は約1,000ヘクタールである。豊見城市は、沖縄県豊見城市にあり、人口は約2万人、面積は約1,000ヘクタールである。



case.18

沖縄県豊見城市

RESASを使った分析例

- 1 人口動態から見た豊見城市の課題分析 P298
- 2 医療産業を中心とした産業振興に関する分析 P302

豊見城市は、沖縄県豊見城市にあり、人口は約2万人、面積は約1,000ヘクタールである。豊見城市は、沖縄県豊見城市にあり、人口は約2万人、面積は約1,000ヘクタールである。

豊見城市は、沖縄県豊見城市にあり、人口は約2万人、面積は約1,000ヘクタールである。豊見城市は、沖縄県豊見城市にあり、人口は約2万人、面積は約1,000ヘクタールである。

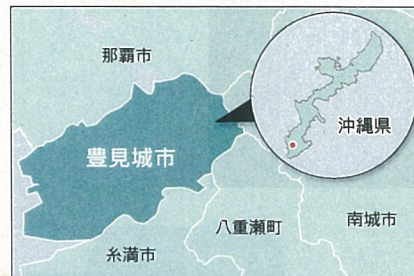
● 豊見城市の概要

沖縄本島南西部に位置する人口62,623人の市。埋立事業や企業誘致等が成果を収めたことで、人口は増加傾向にあり、東洋経済新報社の「全国都市成長力ランキング」では常に上位に位置している。東京女子医科大学と市内病院の連携により、再生医療の拠点化、医療ツーリズムの展開を図っている。

豊見城市は、沖縄本島南西部に位置し、北は那覇市、西は東シナ海、東は南風原町と八重瀬町、南は糸満市と隣接している。豊崎地区の埋立事業の成功や観光関連産業の誘致推進、宜保地区の区画整理事業により、人口や企業数が大幅に増加し、現在もその傾向が続いている。2002年には豊見城村から豊見城市となり、2012年には人口60,000人を突破した。東洋経済新報社がまとめている「全国都市成長力ランキング」では2006年、2010年に全国1位となるなど、成長著しい都市である。

市の西海岸と海中道路で結ばれている周囲約1.5kmの瀬長島は、慶良間諸島に沈む美しい夕日が見ることができ、また、那覇空港を離発着する飛行機を目の前で見ることができる島として知られている。2013年には大型リゾートホテル「琉球温泉 瀬長島ホテル」がオープンしたことで、更に注目を集めている。また、2010年に西海岸の豊崎地区にオープンした「豊崎美らSUNビーチ」は、全長約700mの県内最大級の人工ビーチで、那覇空港から最も近いビーチであることから、那覇発着の際に気軽に立ち寄れるビーチとして観光客の注目を集めている。

■国内における位置



■隣の楽園。瀬長島



■主要データ

面積※1	19.60km ²	世帯数※2	24,133世帯
人口※2	62,623人	事業所数※4	2,137
人口密度※3	3195.1人/km ²	従業者数※5	23,727人

出典／※1 平成27年全国都道府県市区町村別面積調
 ※2 住民基本台帳人口(平成28年1月末時点)
 ※3 上記記載の「人口÷面積」にて算出
 ※4 平成26年経済センサス-基礎調査(事業内容等不詳を含まず)
 ※5 平成26年経済センサス-基礎調査(男女別の不詳を含む)

● RESAS活用の背景／活用状況

豊見城市で推進している医療ツーリズムの実現と再生医療の拠点化に向けた、産業集積の状況と中核企業である医療機関の取引関係の分析にRESASを活用している。

豊見城市では漸増傾向にある自然増と、20～30代の若い世代の転入超過による社会増により、人口は増加を続けている。しかし、産業基盤の面でやや弱いところがあり、多くの市民が隣接する那覇市に働きに出ていることが課題となっている。今後、自立した地域経済を確立するためには、産業基盤を強化し、新たな雇用を創出することで、働きやすく暮らしやすい社会づくりを進めることが求められている。現在、基盤産業育成施策として、医療ツーリズムの展開と再生医療の拠点化を進めているが、そのための産業集積の状況と中核企業である医療機関の取引関係の分析にRESASを活用している。

また、2016年4月には、企画情報課内に「統計班」が新設されるなど、今後も一層RESASの活用を進めていく方針であり、市庁舎の移転に伴う周辺地域の開発や観光振興地域である豊崎地区での企業誘致、市内の低・未利用地における企業誘致などにも、RESASを活用して企業と地域のつながりなどを把握しながら施策立案を進める予定である。

● RESASの分析によって得られた内容

RESASを活用したことで、豊見城市の医療産業の集積の状況について確認することができ、医療ツーリズムの実行や再生医療の拠点化に向けた経済効果の検証を行うことができた。

RESASを活用したことで、かねてより課題とされていた雇用の流出が確認された。また、医療ツーリズムを軸とした医療産業の集積及び関連産業の連携が、地域経済の活性化に有効であるという示唆が得られた。

まず、人口分析においては、雇用者所得の市外からの流入や、平日に豊見城市から那覇市への人口流入が多く見られることから、那覇市に多くの人が働きに出ている状況が再確認された。今後は、地域産業の支援や企業誘致による域内産業の強化を図り、具体的な雇用創出施策の検討を更に進めていく予定である。

次に、産業分析においては、豊見城市の中心的な産業である医療業は、従業者数や付加価値額において強みがあり、今後、地域内の飲食店やリゾートホテル等の宿泊業と連携し、医療ツーリズムを軸とした産業振興を推進していくことで、新たな雇用の創出や観光振興、域内消費の増加が期待されることが示唆された。また、医療関連企業の集積により地域経済の活性化が見込まれることが分かったため、再生医療関連企業の誘致に積極的に取り組んでいく予定である。



RESASの活用風景

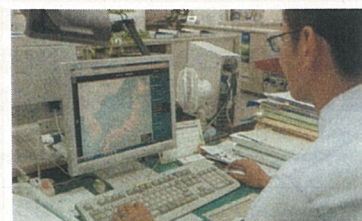
■RESASによる分析結果をもとに議論する様子



■RESASを活用し、施策立案のためのヒントを探す様子



■観光マップを活用し現状把握に努める様子



人口動態から見た豊見城市の課題分析

●活用の背景

豊見城市の人口は増加傾向にあり、現在62,623人の人口は2020年には約63,000人になると推計され、今後もしばらくは人口の増加が続くものと考えられる¹。更に豊崎地区における住宅地形成の進行や、市庁舎の移転を計画している豊見城交差点付近の中心市街地の形成、那覇空港自動車道や幹線道路の整備に伴う沿線土地利用の高度化などにより、人口推計を上回る可能性もある。しかし、沖縄本島中南部における米軍基地の返還とそれに伴う新たな土地利用が進むことにより、豊見城市の持つ優位性が薄れ、人口推計を下回る可能性もある。

豊見城市は那覇市の南に隣接しているため、ベッドタウンとして人口が増加しているが、自立した地域経済の確立という観点では、域内での雇用が重要となる。そこで、RESASを活用して、人の流れの現状分析を行った。

●分析内容

第18-1-1図は、豊見城市の人口推移を示したものである。これを見ると、豊見城市の人口は今後も増加傾向にあることが分かる。総人口だけでなく生産年齢人口も増加しており、更に年少人口の割合も、全国の12.8%²に比べ、約20%と高い割合を維持していることが特徴である。

第18-1-2図は、豊見城市の人口の自然増減、社会増減の推移を示したものである。これを見ると、豊見城市では自然増減、社会増減ともに増加傾向にあることが分かる。

第18-1-3図は、豊見城市とその近隣市町の合計特殊出生率を示したものである。これを見ると、豊見城市では2003-2007年に1.87、2008-2012年に2.03となっており、伸びが大きいことが分かる。

第18-1-4図は、豊見城市の地域経済循環図を示したものである。これを見ると、雇用者所得において地域外からの流入額が大きいことが分かり、市民の多くが市外へと働きに出ていることが推察される。

第18-1-5図は、那覇市の平日の滞在人口の流入先を示したものである。これを見ると、那覇市の流入先として豊見城市が3位(30,400人)となっており、豊見城市から那覇市へ、通勤等による平日の人口移動があることが推測される。

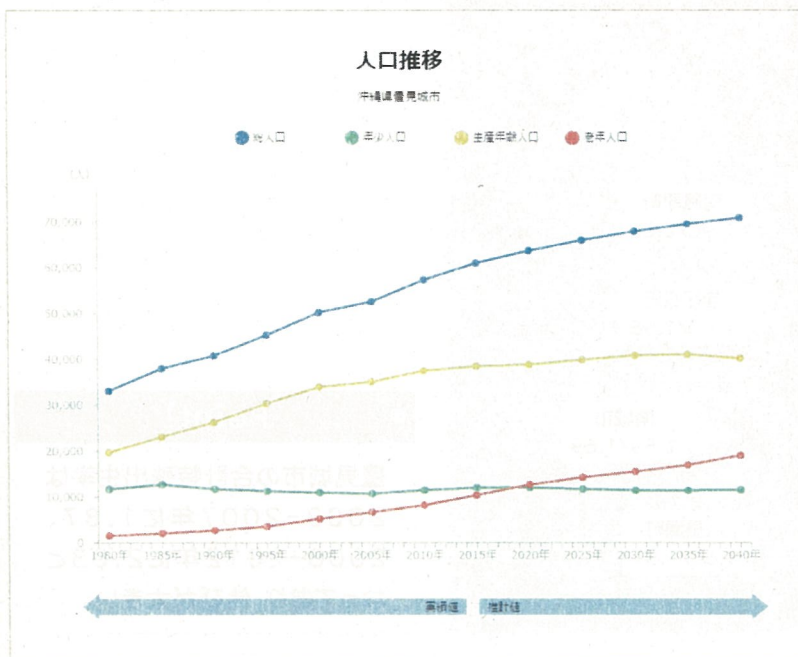
●得られた結論・今後の展開

担当者からは、「雇用者所得の地域外からの流入額が大きいことなど、豊見城市は市外へと働きに出る市民の多いベッドタウン型の都市であることが、RESASの分析によって再確認された。」との発言があった。域内での雇用の場を増やすことで、雇用による税収や域内での消費を増やし、地域経済を活性化することが改めて認識された。今後は、豊見城市で推進している医療ツーリズムや再生医療の拠点化などを実施することで、域内産業の強化を図っていきたい。

1 資料：第四次豊見城市総合計画

2 資料：総務省「人口推計」(2014年)

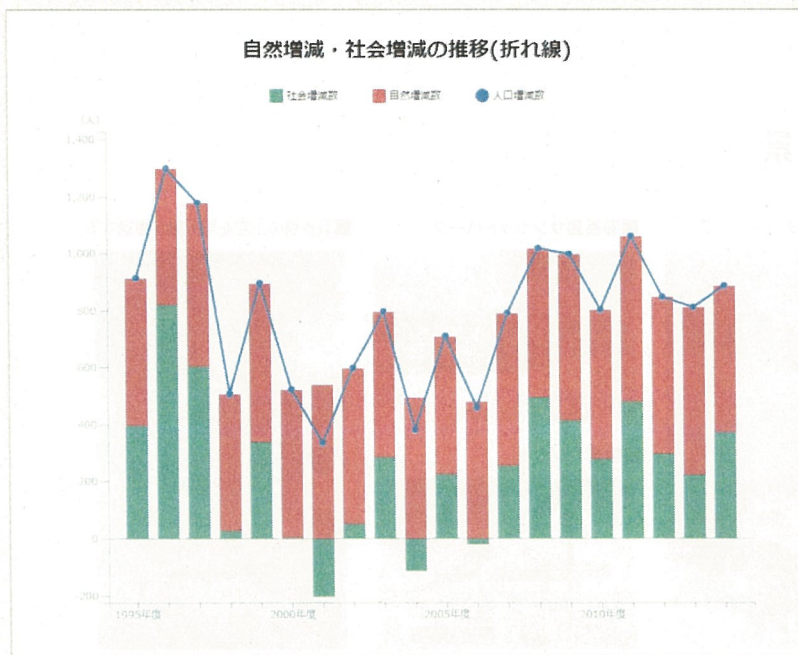
■(第18-1-1図)人口マップ 人口構成 人口推移
[沖縄県豊見城市]



Point!

豊見城市の人口は今後も増加傾向にあることが分かる。総人口だけでなく生産年齢人口も増加しており、更に年少人口の割合も、全国の12.8%に比べ、約20%の高い割合を維持している。

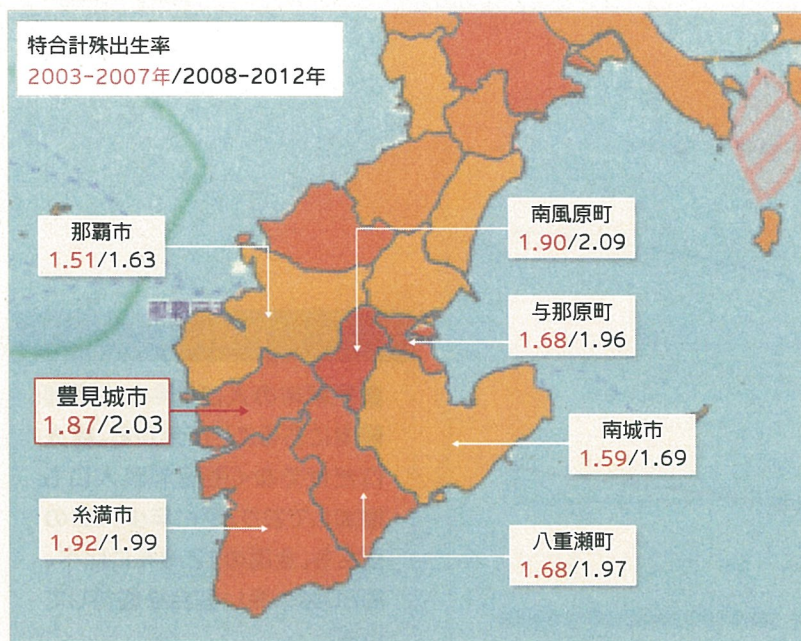
■(第18-1-2図)人口マップ 人口増減 自然増減・社会増減の推移(折れ線)
[沖縄県豊見城市]



Point!

豊見城市では自然増減、社会増減ともに増加傾向にある。

■(第18-1-3図)人口マップ 人口の自然増減
[沖縄県豊見城市]



Point!

豊見城市の合計特殊出生率は
2003-2007年に1.87、
2008-2012年に2.03と
なっており、伸びが大きい。

豊見城市の風景

とよさきちゆ
■県内最大級の人工ビーチ。豊崎美らSUNビーチ



■瀬長島サンセットパーク



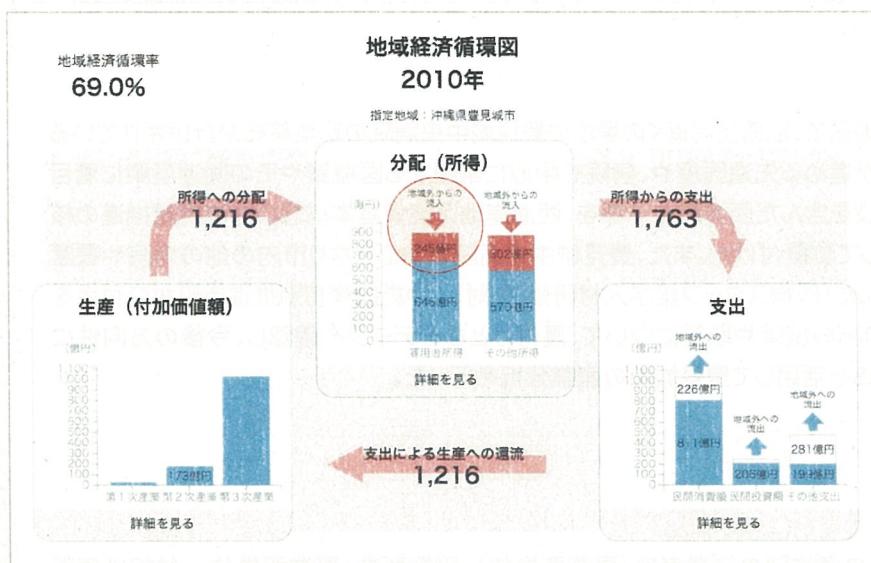
■瀬長島の上空を飛行機が通過する



■豊崎ヤシの木



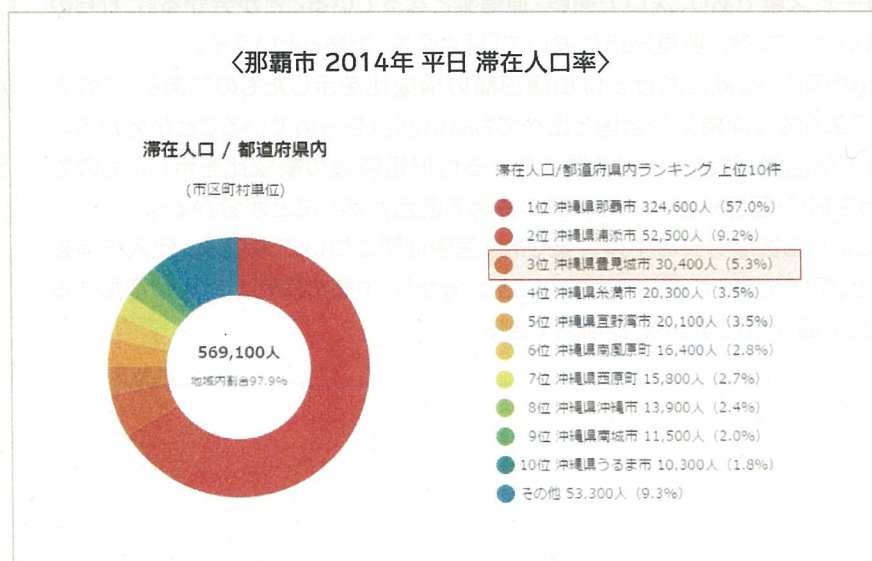
■(第18-1-4図)地域経済循環マップ 地域経済循環図
[沖縄県豊見城市 2010年]



Point!

雇用者所得において
地域外からの流入額が
大きく、市民の多くが
市外へと働きに出ている
ことが推察される。

■(第18-1-5図)観光マップ From-to分析(滞在人口)
[2014年(平日) 沖縄県那覇市]



Point!

那覇市では、豊見城市
からの滞在人口の流入
が3位(30,400人)と
なっており、豊見城市
から那覇市へ、通勤等
による平日の人口移動
があることが分かる。

医療産業を中心とした産業振興に関する分析

●活用の背景

豊見城市では、市の西海岸地区で、那覇空港近くの場所に豊見城中央病院の新築移転が計画されていることを機に、豊見城中央病院が進める先進医療や、病院を中心に集積する医療業やその関連産業に着目して、豊崎地区の医療関連施設を含んだ西海岸の一部を、西海岸地区整備基本構想の中で健康推進の核となる「ヘルスケアゾーン」として位置付けた。また、豊見城中央病院が中心となり市内の他の病院や看護学校生と一緒にあって取り組んだ「医療スタッフ語学人材研修」に対し、沖縄振興特別推進市町村交付金を活用して支援を実施した。これらの施策や取組について、裏付けとなるデータを確認し、今後の方向性について検討するために、RESASを活用して豊見城市の産業分析を行った。

●分析内容

第18-2-1図は、豊見城市の産業別の従業者数(事業所単位)、事業所数(事業所単位)、付加価値額(企業単位)を示したものである。これを見ると、地域で雇用を多く生み出しているのは医療業、社会保険・社会福祉・介護事業、飲食物品小売業であることが分かる。事業所数では、飲食店、その他の小売業、洗濯・理容・美容・浴場業などが多い。また、付加価値額では、医療業が突出して多く、次に社会保険・社会福祉・介護事業が多い。

第18-2-2図は、豊見城市の産業別の生産額(総額)を示したものである。これを見ると、産業別に最も生産額(総額)が多いのは、サービス業であり、次いで運輸・通信業となっていることが分かる。これらの産業は移輸入収支もプラスになっており、豊見城市において「稼ぐ産業」であるといえる。

第18-2-3図は、豊見城市の医療、福祉における付加価値額の構成比を示したものである。これを見ると、医療業の割合が高く(79.6%)、沖縄県や全国と比べても高い割合を占めていることが分かる。

第18-2-4図は、豊見城市の宿泊業、飲食サービス業における付加価値額の構成比を示したものである。これを見ると、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業の占める割合が高いことが分かる³。

第18-2-5図は、豊見城市における医療分野の中核企業である医療機関について、販売先、仕入先等を示したものである。これを見ると、県内企業との関連が大きいことが分かり、中核の病院の売上が増加することで、関連する企業の多くは売上高が増加することが期待できる。

3 現在、豊見城市には、2009年にオープンした「ホテルグランビューガーデン沖縄」、2013年にオープンした「琉球温泉 瀬長島ホテル」の2軒のホテルが立地するが、これらのデータは2012年の構成比には反映されていないものと考えられる。

医療産業を中心とした産業振興に関する分析

●得られた結論・今後の展開

担当者からは、「RESASの分析により、医療業や飲食店、宿泊業など市内に集積する産業間の連携を図り、医療ツーリズムを軸に産業振興していくことが有効であると確認できた。」との発言があった。具体的には、雇用や付加価値額の高い医療業、事業所数の多い飲食業、今後の成長が期待されるリゾートホテル等の宿泊業が、医療ツーリズムを軸とした連携をすることで、新たな雇用の創出や観光振興、域内消費の増加が期待されることが分かった。更に、生産額(総額)では、サービス業に次いで運輸・通信業が高い値を示しているが、これは那覇空港に隣接し、また、那覇空港までの主要な幹線道路網の整備が進んでいる市内に貸切バス会社が多く進出しているためであり、市民のみならず県内外から訪れる観光客のアクセス向上にも寄与するなど、医療ツーリズムに向けたインフラも整っている。

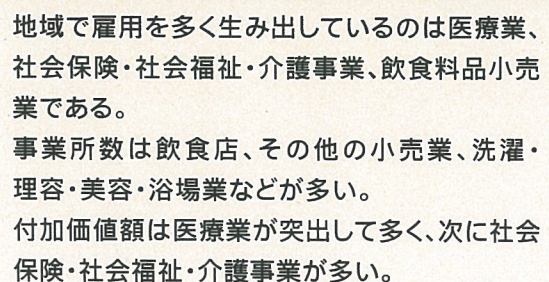
また、「RESASを活用して市内にある医療機関を分析したところ、取引先の多くは県内企業であり、各医療機関の売上が増加することで、取引先企業の売上も増加することが期待できることが新たに分かった。」との発言もあり、医療関連企業の集積により地域経済の活性化が見込まれることが分かった。

今後も、医療産業の集積を図って関連企業の誘致を積極的に実施し、誘致企業の選定の際には、地域とのつながりや波及効果を確認するなど、RESASを積極的に活用していく方針である。

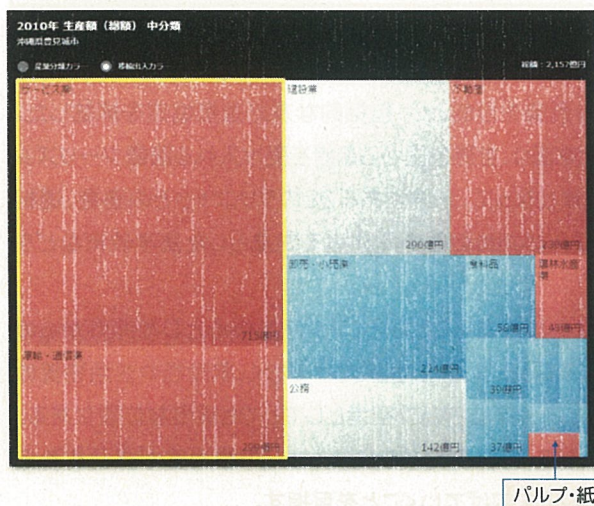
事業所数(事業所単位)



Point!



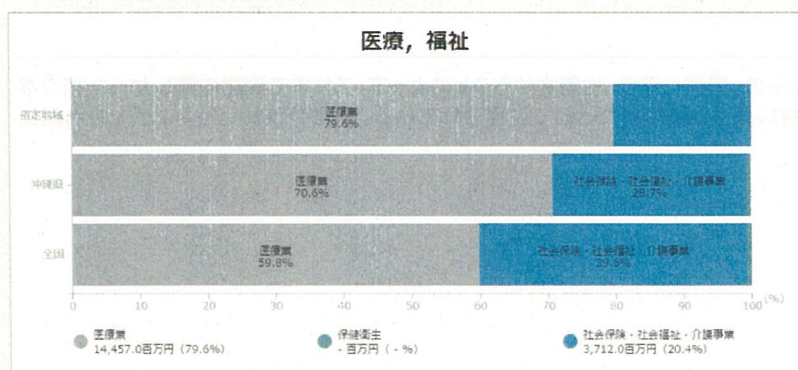
■(第18-2-2図)地域経済循環マップ 生産分析 生産額(総額) 中分類 移輸出入カラー
[沖縄県豊見城市 2010年]



Point!

最も生産額(総額)が多いのはサービス業であり、次いで運輸・通信業である。
これらの産業は移輸出入収支もプラスになっており、「稼ぐ産業」であるといえる。

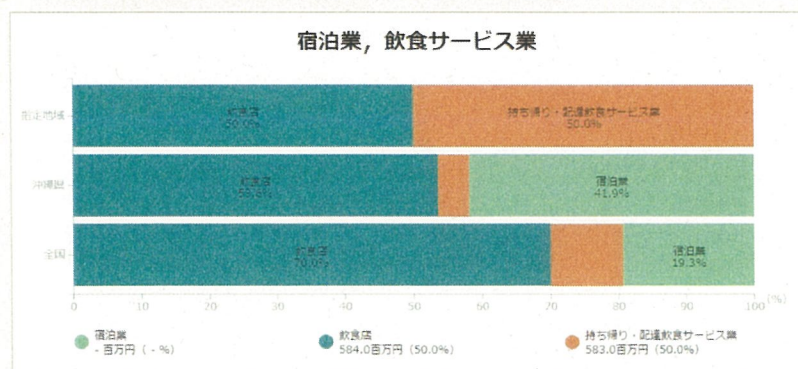
■(第18-2-3図)産業マップ 全産業花火図 付加価値額(企業単位) 中分類 割合順
[沖縄県豊見城市 医療,福祉 2012年]



Point!

医療,福祉では、医療業の付加価値額構成比が高く(79.6%)、沖縄県や全国と比較しても高い割合を占めている。

■(第18-2-4図)産業マップ 全産業花火図 付加価値額(企業単位) 中分類 割合順
[沖縄県豊見城市 宿泊業,飲食サービス業 2012年]



Point!

宿泊業,飲食サービス業では、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業の付加価値額構成比が高い。2009年、2013年にオープンしたリゾートホテルについては数値に反映されていないと考えられる。

豊見城中央病院の再生医療拠点化に伴う医療ツーリズムの展開

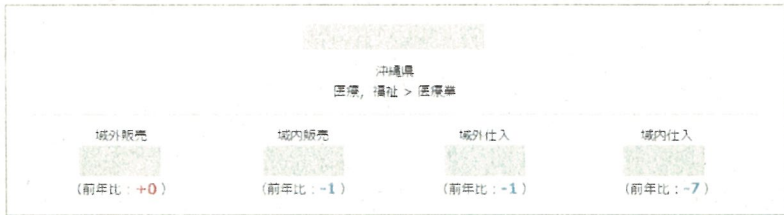
豊見城中央病院は、2015年、沖縄県における再生医療実施体制の本格化を目指して、東京女子医科大学が開発した「細胞シート⁴工学」の再生医療への臨床応用とその普及体制の構築を目的とし、包括的な友好連携協定を締結した。5年間の協定期間を通して、豊見城中央病院は再生医療の拠点化を図り、世界各国から患者を受け入れる医療ツーリズムの展開を視野に入れている。これまでに、豊見城中央病院が主体となって、市内にある28のクリニックとの連携、透析治療のニーズが高いとされる台湾への現地調査、外国人患者受入のための医療関係者を対象とした語学教育などを実施している。

豊見城市の豊崎地区には、沖縄県内で唯一のアウトレットモールがあることから、アジアを中心とした海外からの観光客も多い。また、那覇空港は、沖縄県のリーディング産業である観光・リゾート産業だけでなく、農産物や生活物資の輸送など様々な方法で活用されており、沖縄県の玄関口として、国内外を結ぶハブ空港としてとても重要な位置にある。現在整備が進められている第二滑走路の供用が開始されることで、アジアを中心にたくさんの観光客が見込まれることから、那覇空港の滑走路増設に合わせて医療ツーリズムの展開を広げていくことを目指す。

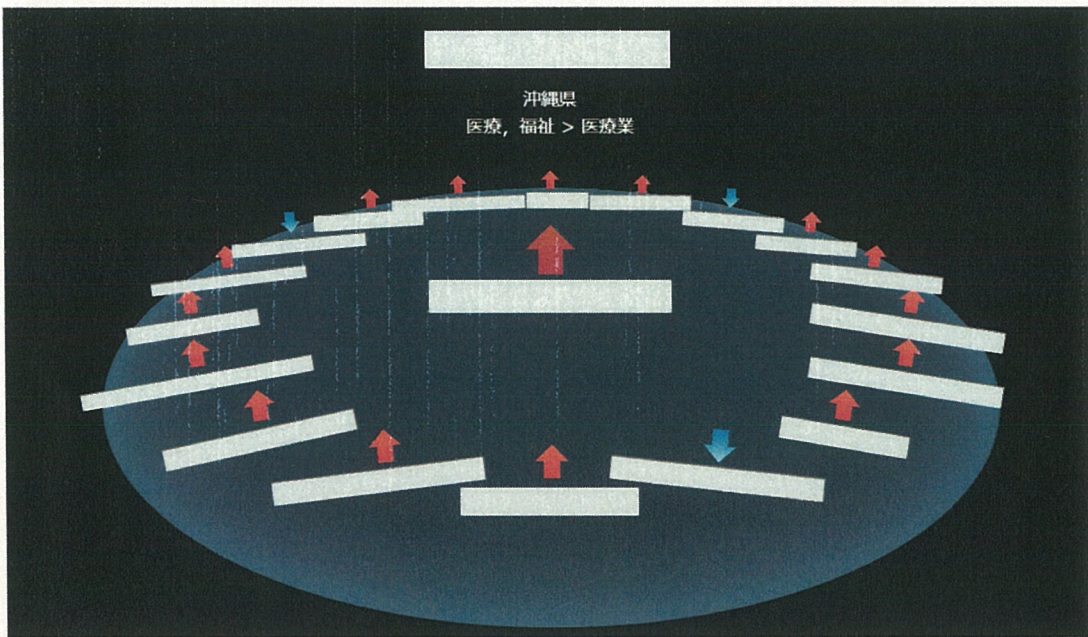
豊見城市は沖縄振興特別推進市町村交付金を活用して補助金を交付し、医療ツーリズムの展開を支援している。

- 4 患者自身の細胞を培養してシート状にしたもの。患部に貼り、生着させることによって、これまで治療の難しかった様々な病気で症状の改善・治癒を期待できるとされ、再生医療の1つとして注目されている。心臓や軟骨、角膜などへの治療に応用されている。

[個別企業情報 医療法人A 域内外販売・仕入]



[個別企業情報 医療法人A 仕入先企業 売上高の状況を見る]



Point!

地域中核企業である医療機関の取引先の多くは県内企業であり、該当機関の売上が増加することで、その取引先企業の多くは売上高が増加する傾向にある。

case.19

沖縄県南城市

RESASを使った分析例

- | | | |
|---|--------------------|------|
| 1 | 農業と食料品製造業の連携に関する分析 | P313 |
| 2 | 農業と観光産業の連携に関する分析 | P318 |

● 南城市の概要

沖縄本島南部の東海岸、那覇市から約12kmに位置する人口42,914人の市。神の島と呼ばれている「久高島」、世界文化遺産である「セーファウタキ斎場御嶽」、「おきなわワールド」などの観光資源に加え、近年では市内に多数のカフェが立地し観光地として人気を博している。農水産業が基幹産業となっており、クルマエビ、もずく、海ブドウなどの養殖や各種野菜・果物、ハーブなどの栽培が盛んである。

南城市は、2006年に佐敷町、知念村、玉城村、大里村が合併してできた沖縄本島南部の東海岸、那覇市から約12kmに位置する市であり、静穏な中城湾と太平洋に面している。大里地区など那覇市への利便性が高い住宅地、市街地としての都市機能を有するエリアと、知念地区など美しい海岸線と緑豊かな自然環境、数多くの歴史的資源を有し「沖縄らしさ」が残されたエリアが両立しているのが特徴である。神の島と呼ばれる「久高島」、世界文化遺産で年間約40万人の観光客を集める「セーファウタキ斎場御嶽」をはじめとする貴重な歴史的・文化的資源のほか、国内有数の鍾乳洞や沖縄古来の町並みが楽しめる「おきなわワールド」が立地するなど、観光資源も多い。また、近年では、「高所から海を眺める」、「海岸沿いから海を眺める」、「広大な庭園を有する」、といった個性的な特徴を持つ、観光客にも人気を博しているカフェが多数、立地している。

農水産業が基幹産業となっており、クルマエビ、もずく、海ブドウなどの養殖、インゲン、ゴーヤ、オクラなどの野菜やパパイア、マンゴーなどの果物に加え、薬草・ハーブなどの栽培も盛んである。

■主要データ

面積※1	49.94km ²	世帯数※2	16,434世帯
人口※2	42,914人	事業所数※4	1,387
人口密度※3	859.3人/km ²	従業者数※5	10,476人

出典／※1 平成27年全国都道府県市区町村別面積調

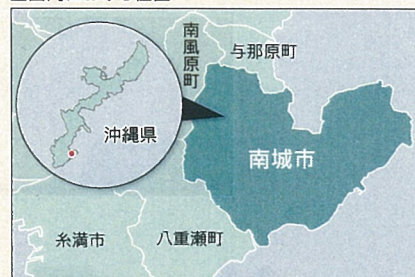
※2 南城市人口統計 行政区別住民登録人口(平成28年2月末時点)

※3 上記記載の「人口÷面積」にて算出

※4 平成26年経済センサス-基礎調査(事業内容等不詳を含まず)

※5 平成26年経済センサス-基礎調査(男女別の不詳を含む)

■国内における位置



■ニライ橋カナイ橋



■垣花樋川



● RESAS 活用の背景 / 活用状況

那覇市のベッドタウンとしての機能にとどまらず、地域で自立可能な就労の場を創り出し、地域産業を活性化する施策を検討するために、RESASを用い、地域で強みのある農水産業の分析を行っている。

南城市では、2010年までは人口増加率が徐々に低下する傾向をたどり、2005年～2010年には、ほぼ横ばいのレベルにまで落ち込んでいた¹が、2010年8月の都市計画の見直しを契機に状況は大きく変化し、見直しの2年後の2012年以降は、年を追うごとに人口増加率が上昇している。2015年の人口増加率である1.4%は、5年間の人口増加率に換算すると7%に相当し、過去と比べても極めて高い水準にあるといえる²。南城市への転入は沖縄県内からが74.7%、特に那覇都市圏³からの転入が60%を超える⁴。

南城市の自市町村内就業率は、那覇都市圏内では那覇市を除く10市町村中、糸満市、浦添市に次いで高く⁵、自立した経済の基盤を備えているといえるが、南城市への転入者の多くは那覇市等に通勤していることが分かっている。地区別に人口増加率を見ると、那覇市への利便性が高い大里地区などでは増加しているが、その他の地域、特に知念地区では人口が減少するなど、地区によって大きな差が生じている⁶。地域の活性化のためには、市内での雇用の受け皿を拡充することが必要と考えられる。

現在策定を進めている「南城ちゃーGANJU CITY創生戦略」では、就労機会の拡充をテーマに「地域資源を活用し、自立可能な就労の場を創り出す」ことを基本目標の1つとして掲げている。その中で「やりがいのある農水産業、もうかる農水産業の実現」として、農水産業の6次産業化や経営基盤の強化についての施策の検討を行っており、南城市における農業の現状分析及び今後の地域経済の活性化に資する他産業連携の可能性について、政策調整課でRESASを活用した分析を行っている。

また、観光商工課においては、近年の市内でのカフェの集積や、隣町の大型MICE⁷施設誘致等の影響を踏まえ、南城市の観光の魅力を再確認し、今後の施策の方向性について検討することを目的に、RESASを活用した分析を行っている。

1 資料：総務省「国勢調査」

2 資料：住民基本台帳

3 那覇市、周辺5市町（糸満市、豊見城市、与那原町、南風原町、八重瀬町）に、宜野湾市、浦添市、西原町、中城村を加えた11市町村（南城市を含む）を指す。

4 資料：住民基本台帳人口移動報告

5 資料：総務省「国勢調査」

6 資料：2011年～2015年の人口増加率。資料：住民基本台帳

7 MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称である。MICEは、企業・産業活動や研究・学会活動等と関連している場合が多いため、一般的な観光とは性格を異にする部分が多い。人の集積や交流から、ビジネス・イノベーションの機会の創造、地域への経済効果、国・都市の競争力向上の主に3つの効果が生まれることが考えられる。

● RESASの分析によって得られた内容

南城市の強みである農水産業を活かした産業振興の方向性として、付加価値の高い食料品製造業や魅力ある観光資源の1つとなっているカフェなどの飲食店との連携が有効であることが確認された。

RESASを活用したことで、「南城ちゃーGANJU CITY創生戦略」における「地域資源を活用し、自立可能な就労の場を創り出す」という基本目標を実現するための方向性を確認することができた。また、観光分野においては、隣町の大型MICE 施設誘致に伴う環境の変化にも対応した、新たな観光の振興の方向性を確認することができた。

産業分析からは、農水産業が「稼ぐ産業」として強みがある一方で、生産性が低いことが課題であり、付加価値の高い食料品製造業との連携によって、相乗的な付加価値額の向上が期待できることが分かった。今後は、南城市の多様な農産物を活用したブランド化や6次産業化を推進する施策を更に充実させ、稼ぐ農水産業の実現を図っていく予定である。

観光分野の分析では、南城市には、年間を通して一定数の観光客が訪れていることが確認され、その中でも、「おきなわワールド」、「斎場御嶽」、「カフェくるくま」への訪問客が多いことが分かった。また、カフェなどの飲食店では6次産業化など付加価値額向上の取組が既に進んでいることに加え、前述した食料品製造業と農水産業の連携を進めていくことから今後の付加価値の更なる伸びが期待される。

今後は、MICE関連のビジネス客や外国人観光客の増加が予想されており、地域の強みである「食」と、南城市ならではの歴史的・文化的資源や豊かな自然の魅力を組み合わせた周遊プランの開発等によって、観光産業、地域産業の更なる発展を図っていく方針である。

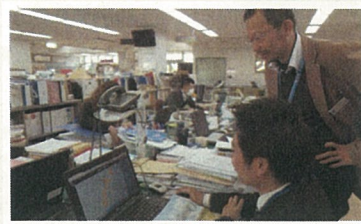


RESASの活用風景

■RESAS活用検討会の様子



■RESASを活用し、今後の施策を検討する様子



■活用のための資料



農業と食料品製造業の連携に関する分析

●活用の背景

南城市における第1次産業の構成比(就業者の割合)は全国、沖縄県全体、周辺5市町平均のいずれをも上回っており、南城市の基幹産業となっている⁸。漁業分野ではクルマエビ、もずく、海ブドウなどの養殖、農業分野ではインゲン、ゴーヤ、オクラなどの野菜やパパイア、マンゴーなどの果物に加え、薬草・ハーブなどの栽培も盛んである。また、養鶏・養豚などの畜産業も盛んで、多岐にわたる一次産品を生産している。

しかしながら、県内平均や周辺市町と比べて、農家一戸当たりの生産農業所得額が低い⁹という課題も存在しており、「やりがいのある農水産業、もうかる農水産業」の実現に向け、農水産業の6次産業化や経営基盤の強化についての施策の検討を行っており、その中で、南城市における農業の現状分析及び今後の地域経済の活性化に資する他産業連携の可能性について、RESASを活用した分析を行っている。

●分析内容

第19-1-1図は、南城市の生産額(総額)を移輸出入カラーで示したものである。これを見ると、農林水産業、食料品、窯業・土石製品が移輸出入カラーでプラスを示し、南城市の「稼ぐ産業」となっていることが分かる。

第19-1-2図は、沖縄県内市町村の農産物販売金額(総額)上位10位を示したものである。これを見ると、南城市の農産物販売金額は、県内では宮古島市、石垣市に次ぐ3位であり、沖縄本島では1位であることが分かる。

第19-1-3図は、南城市の農業部門別販売金額(総額)について、2005年から2010年の推移を示したものである。これを見ると、南城市の農業は酪農、養鶏、養豚などの畜産業及び施設野菜、露地野菜など多岐にわたるが、販売金額の総額は減少していることが分かる。

第19-1-4図は、南城市における農業の出荷先別販売金額(総額)について、2005年から2010年の推移を示したものである。これを見ると、販売先及び構成比にあまり変化がないことが分かり、今後、農業の付加価値額向上のために収益性の高い販売先の創出が必要であることが示唆される。

第19-1-5図は、南城市の製造業における付加価値額(企業単位)の内訳を示したものである。これを見ると、食料品製造業の占める割合が沖縄県、全国と比較しても高く、産業が集積していることが分かる。

第19-1-6図は、南城市の製造業における産業別の特化係数を示したものである。これを見ると、食料品製造業は付加価値額、従業者数が高いことが分かる。

第19-1-7図は、南城市の製造業における中核企業候補(コネクター度50%、ハブ度50%)のうち、食料品製造業の上位7社について取引状況を示したものである。これを見ると、域外仕入が多いことが分かり、域内取引の促進が必要であることが示唆された。

8 資料:総務省「国勢調査」(2010年)

9 資料:農林水産省「生産農業所得統計」(2006年)

農業と食料品製造業の連携に関する分析

●得られた結論・今後の展開

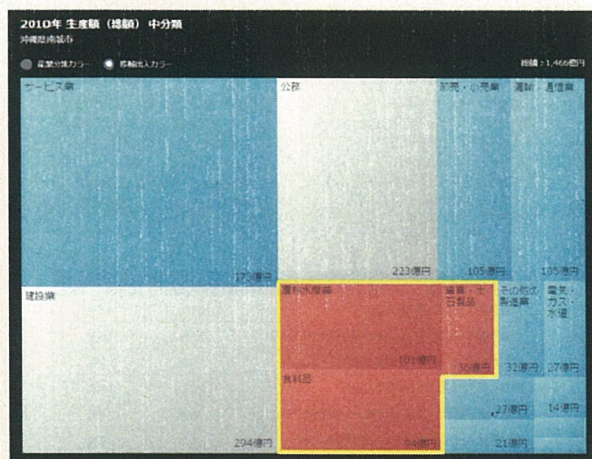
担当者からは、「農水産業は南城市の基幹産業であり、振興に力を入れている。RESASの分析によって、農水産業、特に農業と食料品製造業の2つを活かすことで、相乗効果として地域経済の活性化が見込めることが分かった。」との発言があった。南城市の農業は、沖縄県内でも上位の販売額があり、移輸入収支もプラスの「稼ぐ産業」であるにもかかわらず、農家一戸当たりの所得は低いのが現状である。農業と付加価値額の高い食料品製造業との連携によって、相乗的な付加価値額向上が期待できることが確認された。また、食料品製造業では域外取引が多いことが確認され、今後は域内での仕入を促進していく施策が必要であることが示唆された。

今後は、多岐にわたる農産物を活用し、ブランド化や6次産業化¹⁰を推進する施策を更に充実させることで、農水産業の収益性向上を目指していく。その他の産業振興施策としては、JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）¹¹を活用し、フィリピン共和国ビクトリアス市と農業と観光分野での技術支援を実施しており、農業分野では製糖業からの多角化を進めるなどを目指し、農家の研修などを充実させていく。観光分野では観光資源の発掘や観光客受入体制の整備などに資する技術協力を行っていく。

10 既に、東風マンゴー園の「沖縄南城市産純粋蜂蜜」やTV番組で紹介されて以来、人気を博して品切れ状態が続いている、みやぎ農園の「マヨネーズ」など、商品化されているものもあり、「地域循環創造交付金」を活用した取組が実施されている。

11 日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人の団体等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した、途上国への協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業である。

■(第19-1-1図)地域経済循環マップ
生産分析 生産額(総額) 中分類 移輸出入カラー
[沖縄県南城市 2010年]



Point!

農林水産業、食料品、窯業・土石製品が移輸出入カラーでプラスを示し、南城市の「稼ぐ産業」となっている。

■(第19-1-2図)農林水産業マップ
農産物販売金額(総額)
[沖縄県上位10市町村 2010年] 再編加工

2010年	市町村名	金額(万円)	シェア	主要作物
1	宮古島市	883,750	17.6	工芸農作物
2	石垣市	367,675	7.3	肉用牛
3	南城市	325,025	6.5	養鶏
4	伊江村	283,350	5.6	花き・花木
5	八重瀬町	264,200	5.3	養豚
6	糸満市	253,250	5.0	花き・花木
7	今帰仁村	214,750	4.3	花き・花木
8	名護市	211,125	4.2	工芸農作物
9	うるま市	202,875	4.0	花き・花木
10	本部町	202,325	4.0	肉用牛
農産物販売金額(総額) (万円)				
沖縄県全体		5,031,675		工芸農作物

Point!

南城市の農産物販売金額(総額)は、県内では宮古島市、石垣市に次ぐ3位であり、本島においては1位であることが分かる。

■(第19-1-3図)農林水産業マップ 農業花火図 農業部門別販売金額(総額)

[沖縄県南城市 2005年]



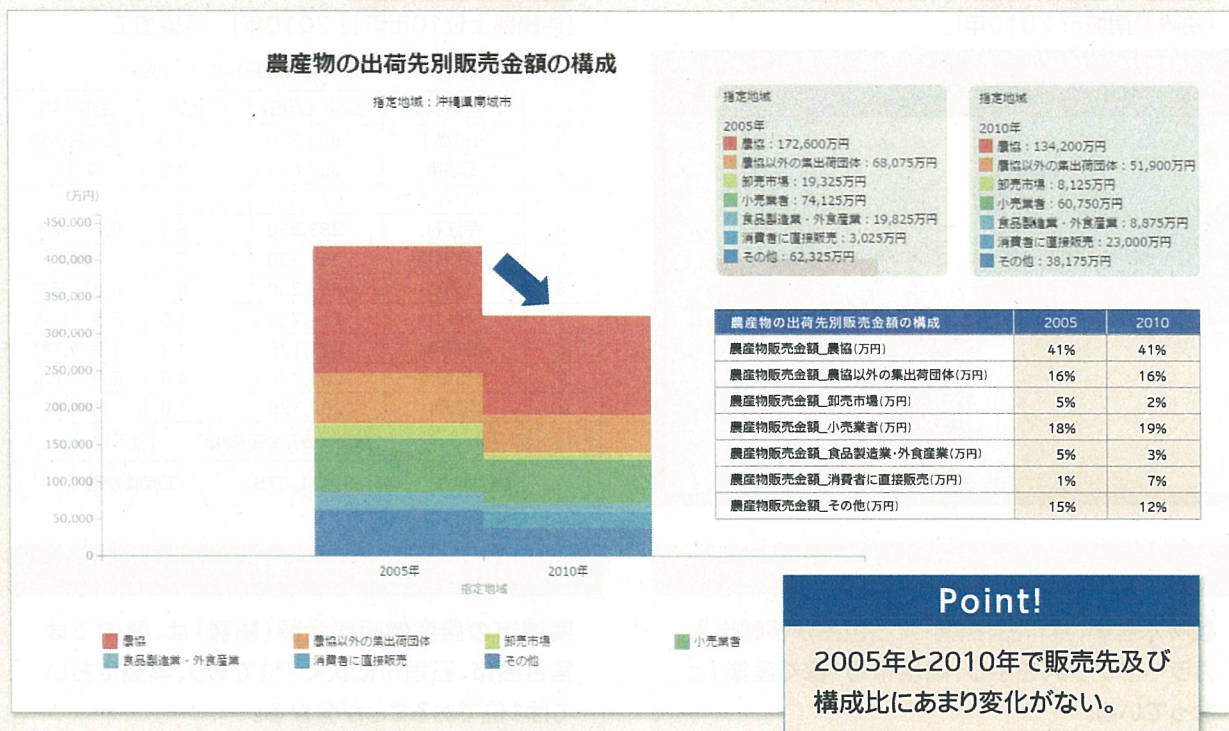
[沖縄県南城市 2010年]



Point!

南城市の農業は酪農、養鶏、養豚などの畜産業及び施設野菜、露地野菜など多岐にわたるが、販売金額の総額は減少している。

■(第19-1-4図)農林水産業マップ 農産物販売金額 農産物の出荷先別販売金額の構成
[沖縄県南城市]



📷 南城市の風景

■玉泉洞



(おきなわワールド)

■新原ビーチ

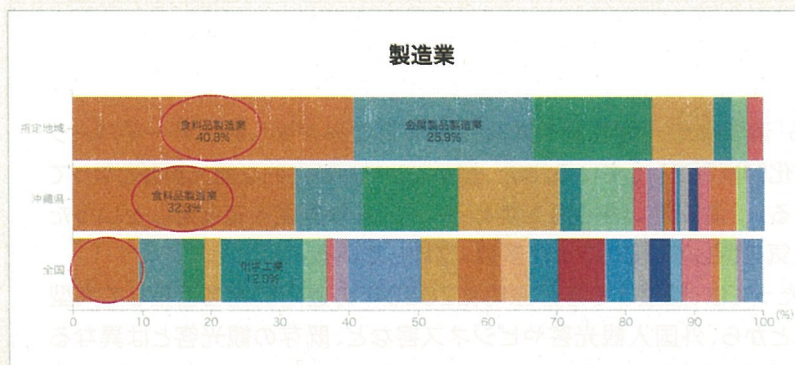


■知念城跡



1 RESASを使った分析例 | 農業と食料品製造業の連携に関する分析

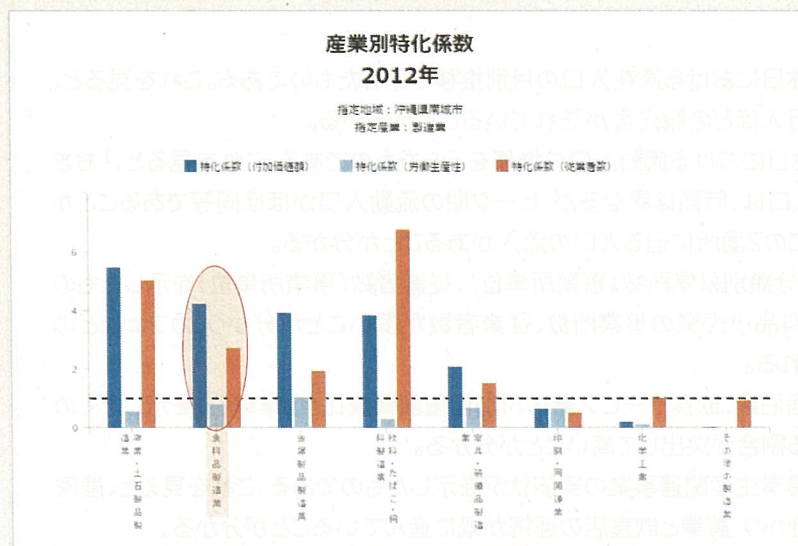
■(第19-1-5図)産業マップ 全産業花火図 付加価値額(企業単位) 中分類 割合順
[沖縄県南城市 製造業 2012年]



Point!

製造業の付加価値額は、食料品製造業の占める割合が沖縄県、全国と比較しても高く、産業が集積していることが分かる。

■(第19-1-6図)産業マップ 稼ぐ力分析
[産業別特化係数 2012年 製造業 沖縄県南城市]



Point!

食料品製造業の特化係数は付加価値額、従業員数が高い。

■(第19-1-7図)産業マップ 企業別花火図
[食料品製造業] 再編加工

企業名と製造分野	域外販売 () は県外	域内販売	域外仕入	域内仕入	
1 A社 水産食品製造	6(1)	0	6	2	※原料仕入は域内の漁協
2 B社 健康食品製造	7(2)	0	9	1	※原料仕入は域内・域外
3 E社 畜産食品(酪農)製造	10(0)	0	5	0	
4 F社 健康食品製造	6(1)	0	3	0	
5 G社 菓子類製造	5(1)	0	4	0	
6 J社 畜産食品製造	0(0)	1	0	0	販売先は食肉センター
7 K社 畜産食品製造	0(0)	1	0	0	販売先は食肉センター

Point!

中核企業候補(コネクター度50%、ハブ度50%)では、域外仕入、販売が多いことが分かり、域内取引の促進が必要である。

農業と観光産業の連携に関する分析

●活用の背景

南城市では、世界文化遺産である「^{せーみあ うえき}斎場御嶽」、鍾乳洞や沖縄古来の町並みが楽しめるテーマパーク「おきなわワールド」などの歴史的・文化的資源を有している。また、豊かな自然も魅力的な観光資源となっており、近年では、「高所から海を眺める」、「海岸沿いから海を眺める」、「広大な庭園を有する」、といった個性的な特徴を持つ、観光客にも人気を博しているカフェが多数、立地している。

今後の観光振興を検討するに当たっては、隣接する与那原町^{よなばるちやう}に2020年の運用開始を目指して大型MICE施設の誘致が決定していることから、外国人観光客やビジネス客など、既存の観光客とは異なるニーズを持つ来訪者に対して、南城市の観光資源の魅力を発信していく施策が必要である。これを踏まえて、重点的に振興していくべき観光資源や観光メニューの開発を検討するために、RESASを活用して南城市の流動人口の動向分析を行った。

●分析内容

第19-2-1図は、南城市の平日、休日における滞在人口の月別推移を示したものである。これを見ると、年間を通じて月平均で3万人から4万人ほどの観光客が訪れていることが分かる。

第19-2-2図は、南城市の平日、休日における流動人口の推移を示したものである。これを見ると、「おきなわワールド」、「斎場御嶽」の流動人口は、時期は異なるが、ピーク期の流動人口がほぼ同等であることが分かる。更に、「カフェくるくま」には、この2箇所に迫る人口の流入があることが分かる。

第19-2-3図は、南城市の産業中分類別事業所数(事業所単位)、従業者数(事業所単位)を示したものである。これを見ると、飲食店、飲食料品小売業の事業所数、従業者数が多いことが分かり、カフェなどの飲食店が充実していることが示唆される。

第19-2-4図は、南城市における宿泊業、飲食サービス業の付加価値額構成比(企業単位)を示したものである。これを見ると、飲食店の占める割合が突出して高いことが分かる。

第19-2-5図は、南城市における農業生産関連事業の実施状況を示したものである。これを見ると、農家レストランの実施状況が高いことが分かり、農業と飲食店の連携が既に進んでいることが分かる。

農業と観光産業の連携に関する分析

●得られた結論・今後の展開

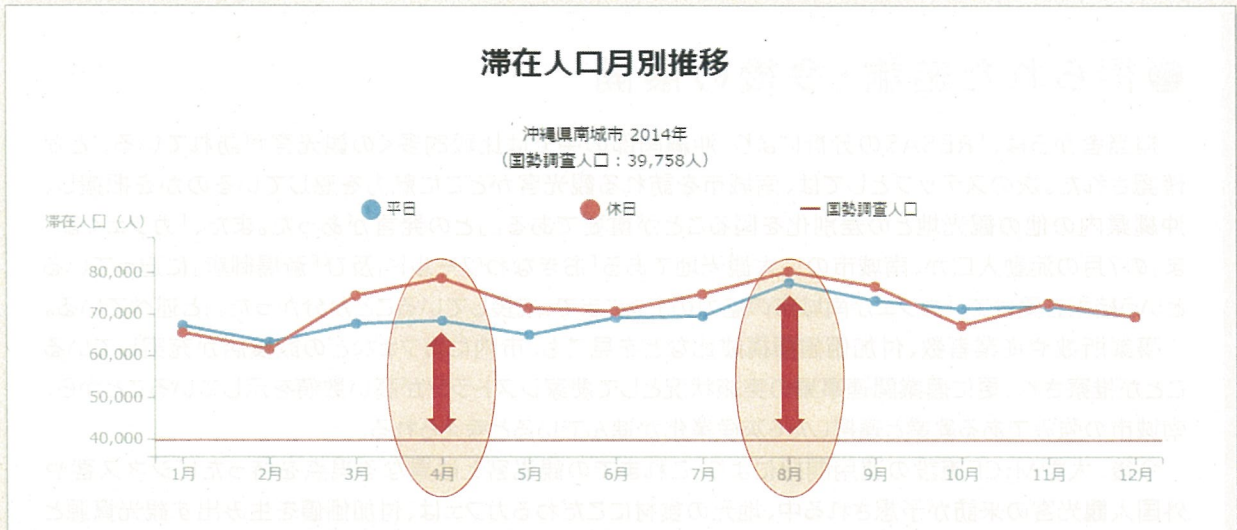
担当者からは、「RESASの分析により、沖縄南部の中では比較的多くの観光客が訪れていることが確認された。次のステップとしては、南城市を訪れる観光客がどこに魅力を感じているのかを把握し、沖縄県内の他の観光地との差別化を図ることが重要である。」との発言があった。また、「カフェくるくま」の7月の流動人口が、南城市の二大観光地である「おきなわワールド」及び「斎場御嶽」に迫っているという結果を受けて、「カフェが南城市の魅力の1つにまで、成長していることが分かった。」と述べている。

事業所数や従業者数、付加価値額構成比などを見ても、市内にカフェなどの飲食店が充実していることが推察され、更に農業関連事業の実施状況として農家レストランが高い数値を示していることから、南城市の強みである農業と連携した6次産業化が進んでいると考えられる。

今後、大型MICE施設の運用開始により、これまでの観光客とは異なる視点を持ったビジネス客や外国人観光客の来訪が予想される中、地元の食材にこだわるカフェは、付加価値を生み出す観光資源となることが期待され、そのポテンシャルを活かすための取組の重要性が確認された。

今後は、飲食店と連携した6次産業化の取組を更に支援するとともに、「斎場御嶽」等の観光資源とカフェの周遊プランの開発等を検討する予定である。また、観光ポータルサイト「らしいね南城」運営事業を更に進め、観光情報発信や観光交流、観光客の利便性向上を図っていく方針である。

■(第19-2-1図)観光マップ 滞在人口率 滞在人口月別推移
[2014年 沖縄県南城市]

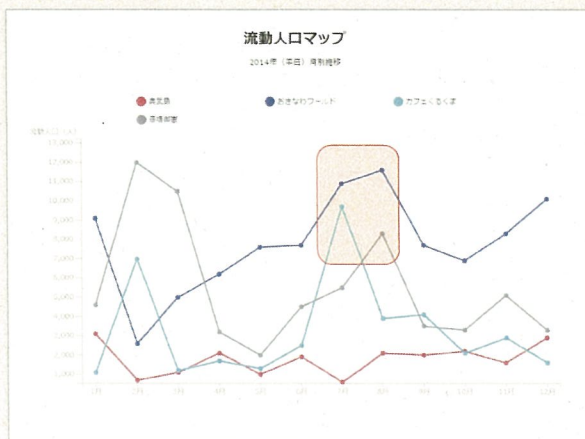


Point!

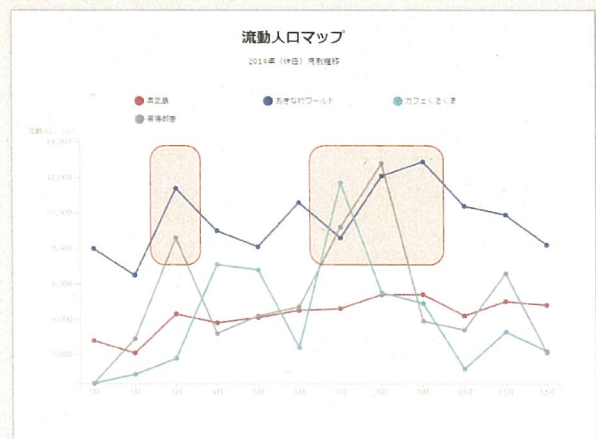
年間を通じて月平均で3万人から4万人ほどの観光客が南城市を訪れている。

■(第19-2-2図)観光マップ メッシュ分析(流動人口) 流動人口マップ
[月別推移 斎場御嶽、奥武島、カフェくるくま、おきなわワールド]

[2014年(平日)]



[2014年(休日)]



Point!

「おきなわワールド」、「斎場御嶽」の流動人口のピークが近い。更に、「カフェくるくま」には、この2箇所に迫る人口の流入がある。

南城市の観光資源



① 久高島

琉球開びゃくの祖アマミキヨが最初につくったとされる島で、五穀発祥の地、神の島と呼ばれている。



② 東風マンゴー園の「沖縄南城市産純粋蜂蜜」

マンゴーの授粉をしている蜜蜂から採蜜した天然100%蜂蜜。主に近年薬草として注目されているシロノセンダングサ(サシグサ)から集めた蜜である。沖縄県南城市産の蜂蜜は沖縄産でも特に採蜜量の少ない蜂蜜である。

③ みやぎ農園のマヨネーズ

卵は2週間、マヨネーズであれば1年間日持ちすることに着目し、保存できる商品として開発。マヨネーズに最低限必要な材料だけでできた、卵の味を感じられる、素朴なマヨネーズ。

④ おきなわワールド

美しい鍾乳洞や赤瓦の町並み、そしてハブ植物公園など見どころ満載。スーパーエイサーの演舞も毎日開催している。



(おきなわワールド)

⑥ 斎場御嶽

創世神アマミキヨがつくった琉球開びゃく七御嶽中の最高の聖地。2000年12月に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録された。



⑤ アジアンハーブレストランカフェくるくま

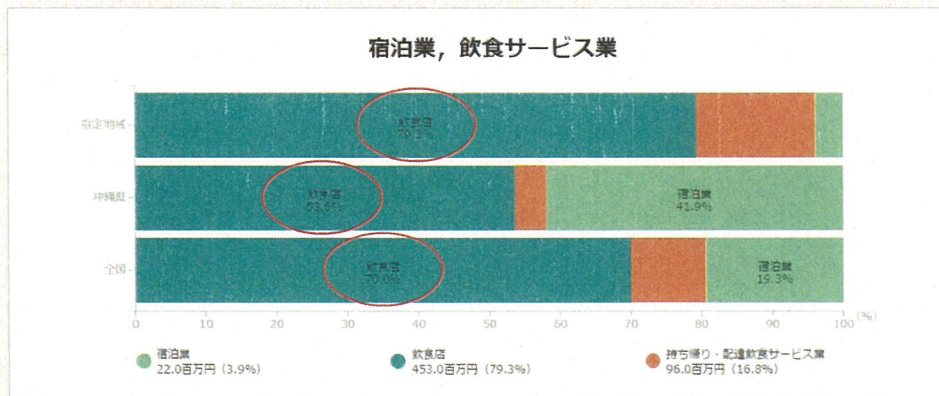
テレビCMなどの撮影にも使われ、有名人も多く訪れる南部の元祖ロケーションカフェ。本場タイ人のシェフが作るエスニック料理をはじめ、ファミリー向けのメニューもそろ。ハーブなど健康食品を扱う会社が運営しているので食材も安心・安全にこだわった良質なものが味わえる。



飲食店、飲食料品小売業の事業所数、従業者数が多く、カフェなどの飲食店が充実していることが示唆される。

2 RESASを使った分析例 | 農業と観光産業の連携に関する分析

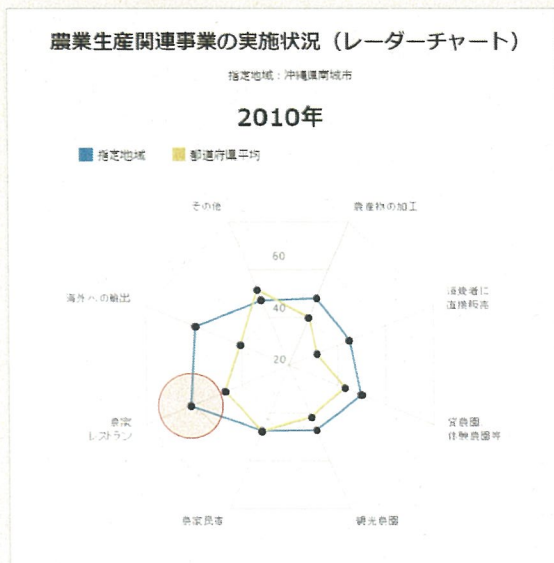
■(第19-2-4図)産業マップ 全産業花火図 付加価値額(企業単位) 中分類 割合順
[沖縄県南城市 宿泊業,飲食サービス業 2012年]



Point!

宿泊業, 飲食サービス業の付加価値額構成比(企業単位)を見ると、飲食店の占める割合が突出して高い。

■(第19-2-5図)農林水産業マップ 農業者分析 農業生産関連事業の実施状況(レーダーチャート)
[沖縄県南城市]



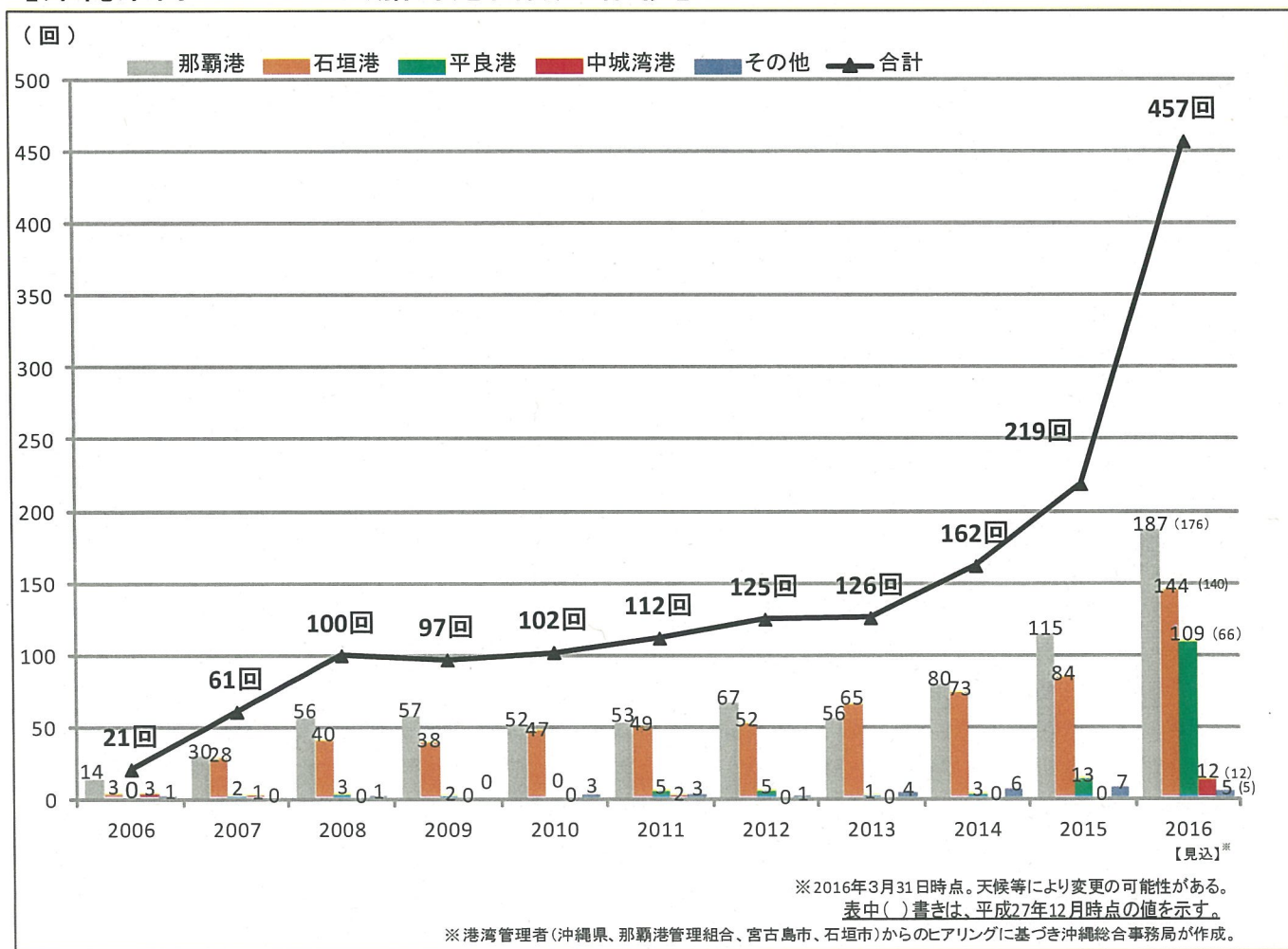
Point!

農業生産関連事業の実施状況は農家レストランが高く、農業と飲食店の連携が既に進んでいることが示唆される。

沖縄県内に寄港するクルーズ船の2016年の見込みについて ～2016年予定、12月時点の見込みから上方修正（457回）～

2016年の沖縄県内へのクルーズ船の寄港回数は、平成27年12月時点見込み399回から、平成28年3月時点見込み457回に上方修正されました。なお、2015年（219回）と比較すると108%増となります。上方修正の要因は、那覇港、平良港、石垣港の寄港回数がともに増加したことによります。

【沖縄県内のクルーズ船寄港回数の推移】



<参考情報>

○平成28年4月13日、中城湾港に大型外航クルーズ船が約10年ぶりに寄港しました。

【問合せ先】

内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課
担当者：坂本、名嘉、村田、平良
TEL：098-866-1906、FAX：098-861-9916

中城湾港新港地区東ふ頭岸壁 暫定供用開始 歓迎式

中城湾港 新港地区東ふ頭では、新港地区立地企業の物流効率化を図り、企業の進出を促進する観点から、国内外物流ターミナルとして、岸壁及び泊地等の整備を行っています。この度、水深－11m岸壁の完成及び水深－11m泊地の航路幅240mのうち幅160m部分が完成しました。これにより、東ふ頭への船舶が入港可能となります。

つきましては、暫定供用にあたり、下記のとおり歓迎式を開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

1. 歓迎式の概要

- ・ 日時：平成28年4月23日（土）14：00～15：00
- ・ 場所：うるま市州崎地先（中城湾港 新港地区東ふ頭内）
- ・ 主催：中城湾港開発推進協議会
- ・ 次第：
 - ・ 主催者挨拶
 - ・ 来賓挨拶 等

2. 中城湾港新港地区東ふ頭の概要

- ・ 別添1の通り

3. その他

- ・ 報道関係の皆様には、会場内に隣接した報道関係者専用の駐車場を設置しております。

問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局開発建設部
港湾空港防災・危機管理課
担当者：照屋、名城
TEL：098-866-1906
FAX：098-861-9916

中城湾港 新港地区東ふ頭の概要

1. 整備の概要

中城湾港は、沖縄本島中南部の東海岸に位置する天然の良港であり、古くから沖縄における物資輸送の中継点及び周辺離島への連絡港として利用されてきました。昭和46年7月には、琉球政府が管理する特定港湾に指定され、その後、沖縄県の本土復帰を経て、昭和49年4月に重要港湾に指定されています。

新港地区は、沖縄県における物資の円滑な流通を確保するとともに産業の振興、雇用機会の創出、産業構造の改善並びに県土の均衡ある発展に資するため、流通機能及び生産機能を併せ持った流通加工港湾として整備を進めています。

新港地区東ふ頭では、新港地区立地企業の物流効率化を図り、企業の進出を促進する観点から、国内外物流ターミナルとして、岸壁及び泊地等の整備を行っています。

この度、水深－11m岸壁の完成及び水深－11m泊地の航路幅240mのうち幅160m部分が完成しました。これにより、東ふ頭への船舶が入港可能となります。今後は、水深－11mの航路幅残り80m部分の浚渫を行うことで完成となります。

2. 施設概要

国 施 工：岸壁(水深－11m)1バース、泊地(水深－11m)

沖縄県施工：岸壁(水深－7.5m)6バース

3. 東ふ頭の状況

新港地区東ふ頭 俯瞰写真



那覇空港滑走路増設事業の進捗状況について

【要旨】

- 那覇空港滑走路増設事業では現在、護岸工事及び一部の埋立工事を進めています。
- 護岸については、4月15日時点で、全体延長8.5kmのうち、延長ベースで約87%（約7.4km）が概成しています。
- 埋立については、平成28年4月5日より滑走路本体部分に着手しました。

1. 工事発注状況

- ・ 平成25～27年度にかけて、計84件の工事を発注済。
- ・ これまでの発注工事における地元企業受注率は約45%（契約金額ベース）。

2. 護岸工事の実施状況

- ・ 全体延長約8.5kmのうち、延長ベースで約95%（約8.1km）を契約済。
延長ベースで約87%（約7.4km）が概成。夏場（7、8月）は相次ぐ台風の接近により工事が中断した一方で、冬場（11～3月）は比較的気象条件が良く、水深の浅い部分を中心に護岸工事が進捗。
- ・ ケーソンは平成27年4月より据付を開始し、4月15日現在で全60函中38函の据付を完了。

3. 埋立工事の実施状況

- ・ 平成27年9月14日より、連絡誘導路部分（Ⅵ工区）の埋立工事を開始。
- ・ 平成28年4月5日より、滑走路本体部分（Ⅲ工区）の埋立工事を開始。
- ・ その他の工区についても本年秋以降順次、埋立工事に着手予定。

4. その他今年度実施予定の工事

- ・ 進入灯橋梁工事（平成28～30年度）
- ・ V工区護岸築造工事（平成28～29年度）
- ・ 場周道路（アンダーパス）工事（平成28～29年度） 等

【問い合わせ先】

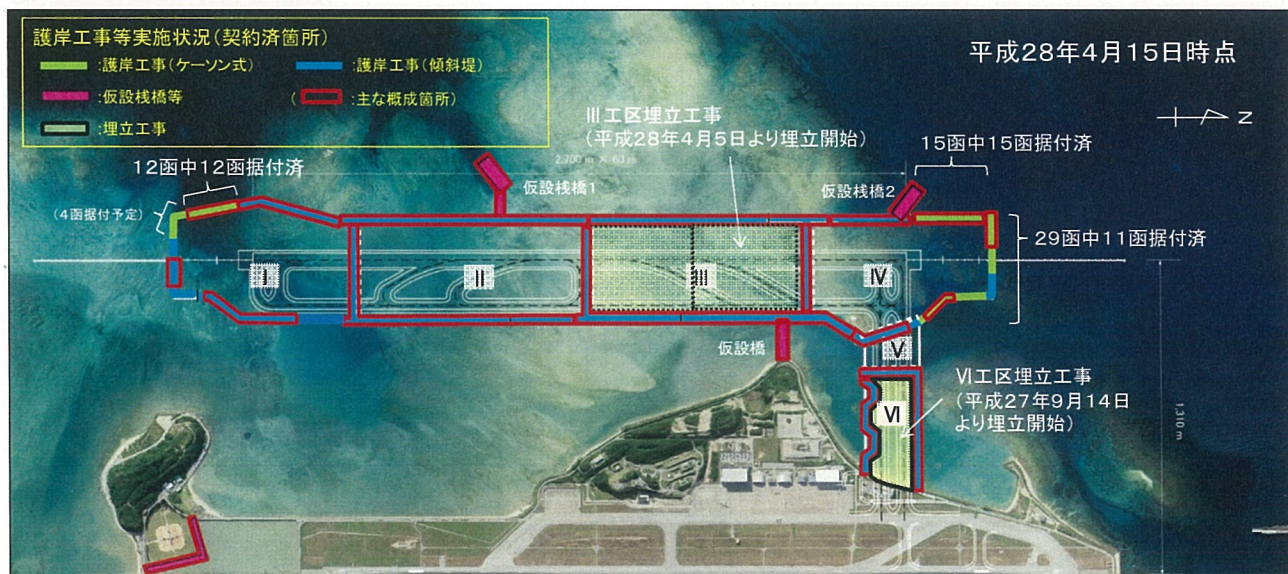
内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 空港整備課
（担当者）細見、大城

TEL：098-866-1921 FAX：098-861-9916



内閣府

【別添】



護岸工事等の実施状況



III工区埋立工事の実施状況

平成28年4月21日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

小学生向けダム学習教材を作成(羽地ダム) ～これまでになかった新しい学習教材を作成～

北部ダム統合管理事務所羽地ダム管理支所では、東京学芸大学ほかの協力を得て、これまでになかった小学生向けの新しいダム学習教材「The ダム～羽地ダム編～」を作成しました。

教材は、ダム資料館を訪れた小学生が作成した壁新聞から興味の対象や視点を分析、反映しています。読み手に呼びかけるダムキャラクターが登場し、「ダムQ&A」「ダムのお仕事」「新しい技術の紹介」「学校での壁新聞づくりに役立つ切り抜きページ」等、ダムの学習や現場での見学ポイントを考慮し、わかりやすい表現としました。

これまででもダムに関するパンフレット等は作成されていましたが、ダム施設やダム管理の仕組みは複雑で、現場で使用される専門用語なども伝わりにくいことが多く、一般の方からの「わかりやすいもの」を求める声に応えた内容となっています。

羽地ダム学習教材は、羽地ダムを学習見学する小学生を中心に4月から配布を開始しています。



「Theダム～羽地ダム編」(表紙)



ページの一例「ダムのお仕事」

問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所

所 長 与那覇 忍

流域対策課長 高良 友健

電 話 : 0980-53-2442 (代 表)

小学生の社会見学の場に活用！

～歴史や文化についても学習できます～

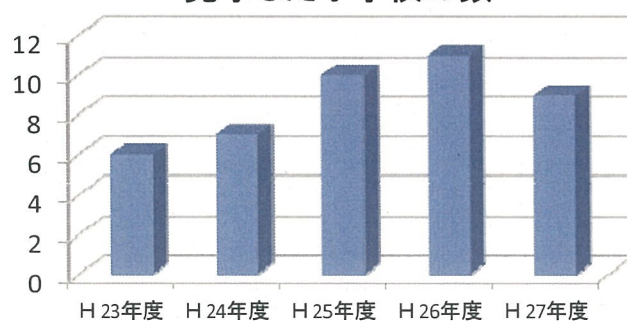


羽地ダム



社会科見学として利用

見学した小学校の数



近年、小学生の社会科見学の場として羽地ダムを利用する学校が増加傾向にある。

学習の場として、更なる発展

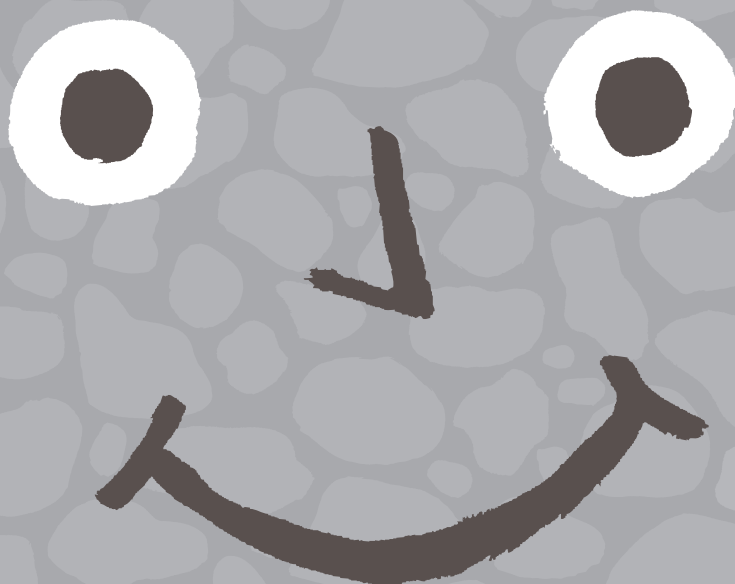


教員免許状更新講習にも羽地ダムが活用され、受講された先生から好評を得ている。

The

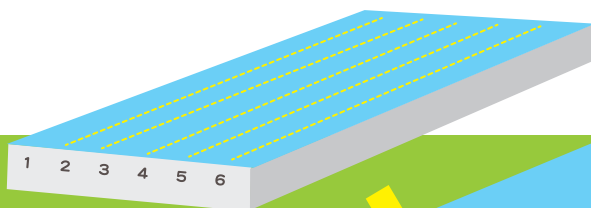
ダム

はねじ へん
【羽地ダム編】



羽地ダムの全体図

羽地ダムは、羽地大川の河口から約3km上流にあります。平成8年からダム本体の工事が始まり、平成17年に完成しました。



水の量
19200000 m³

学校の25mプール

64000杯分！

おきなわけん
ふくじ
沖縄県のダムでは福地ダム、
たいほ
大保ダムに次いで
3番目に大きい！

生き物もいます！

ギンブナ、オオウナギ
クロヨシノボリ
ティラピア類 (外来種)
グッピー (外来種)

ロック (岩)

フィニタ (砂)
すな

【もくじ】

羽地ダムの全体図	… 1
ダムって何だろう？	… 3
おきなわ 沖縄のダム	… 5
羽地ダム Q&A	… 11
ダムのお仕事	… 13
おいしい水を守るために	… 17
羽地ダムの新しい技術 ぎじゅつ の紹介	… 19
羽地ダム資料集 しりょうしゅう	… 20



ダムってなんだろう？



大雨からまちを守る！



大雨が降^ふったり、雨の日がしばらく続いた場合に、ダムが無かったらこのように川の水があふれて家や田畑が水びたしになってしまうことがあります。



ダムがあると、山から流れてきた水をしばらくダム湖に貯めておくことができます。そのため川の水が急に増え^ふたりあふれたりしないような役割^{やくわり}があります。



毎日のくらしに必要な水を送る！



家庭での飲み水や洗たく、お風呂の水など、私たちのくらしに必要な水をダムから送^{やくわり}る役割をもっています。

私たちは、水がなくては生活をする事が出来ません。でも、水が必要な時に、雨が降らない事もあります。ダムふの大きな湖は、雨がたくさん降ったときに、雨水を貯めておいて、必要なときに水を使うことができます。そのダムの役割として何かあるか見てみましょう。



雨が少ない時、川が枯れないように水を流す！



雨が降らない日が何日も続いて、川の水が無くなってしまうと、川に住んでいる生き物や川の水を利用している人たちがとても困ってしまいます。



こんな時は、ダムの湖から川に水を流して川の水がかわないようにします。ダムには川の水を調節する役割やくわりがあります。



田んぼや畑に水を送る！



雨が降らずに田んぼや畑に水が不足するとお米や野菜、果物が作れなくなってしまいます。そうならないように必要な水をダムから田んぼや畑に送る役割やくわりをもっています。



おきなわ 沖縄のダム

沖縄にはたくさんのダムがあります。それぞれに、飲み水を貯めたり、大雨から町を守ったりするなどさまざまな役割を持っています。このようにいくつも役割があるダムのことを「多目的ダム」といいます。

?



Q なぜ沖縄にダムが必要なの？

A 沖縄の川は短くて傾きが急なんだ。
だから川の水がすぐに海に流れてしまうのを防ぐため
ダムをつくって水を貯めているんだよ。



【全国の川】



【沖縄の川】

ダムのおかげでいつでも水が使えるんだね！



?



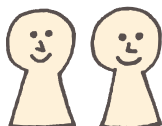
Q 沖縄は雨がたくさん降るけど、なんで水を貯めておかなければならないの？

A 沖縄にふる雨は他の県よりも多いけど、小さい島に多くの人々が住んでいるので、一人あたりの量にすると全国の半分にしかならないんだ。だからみんなが水をいつでも使えるように、ダムをつくって水を貯めているんだよ。

【全国】



雨の量と
人の関係



【沖縄】



1年間の1人
あたりの雨の量



=

4754m³

おおよそ
半分



=

2034m³

水は大事に
使わなきゃね！





Q なぜダムは沖縄の北の方にたくさんあるの？

A ダムは高い山や谷、川がないとつくるのが
難しいため、北部の「やんばる」に多くつくられています。
おいしい水はやんばるの自然で育まれています。
北部の水は、主に人や町の多い、
中部や南部に送られています。
これは「北水南送(ほくすいなんそう)」と呼ばれています。



● CSGダム

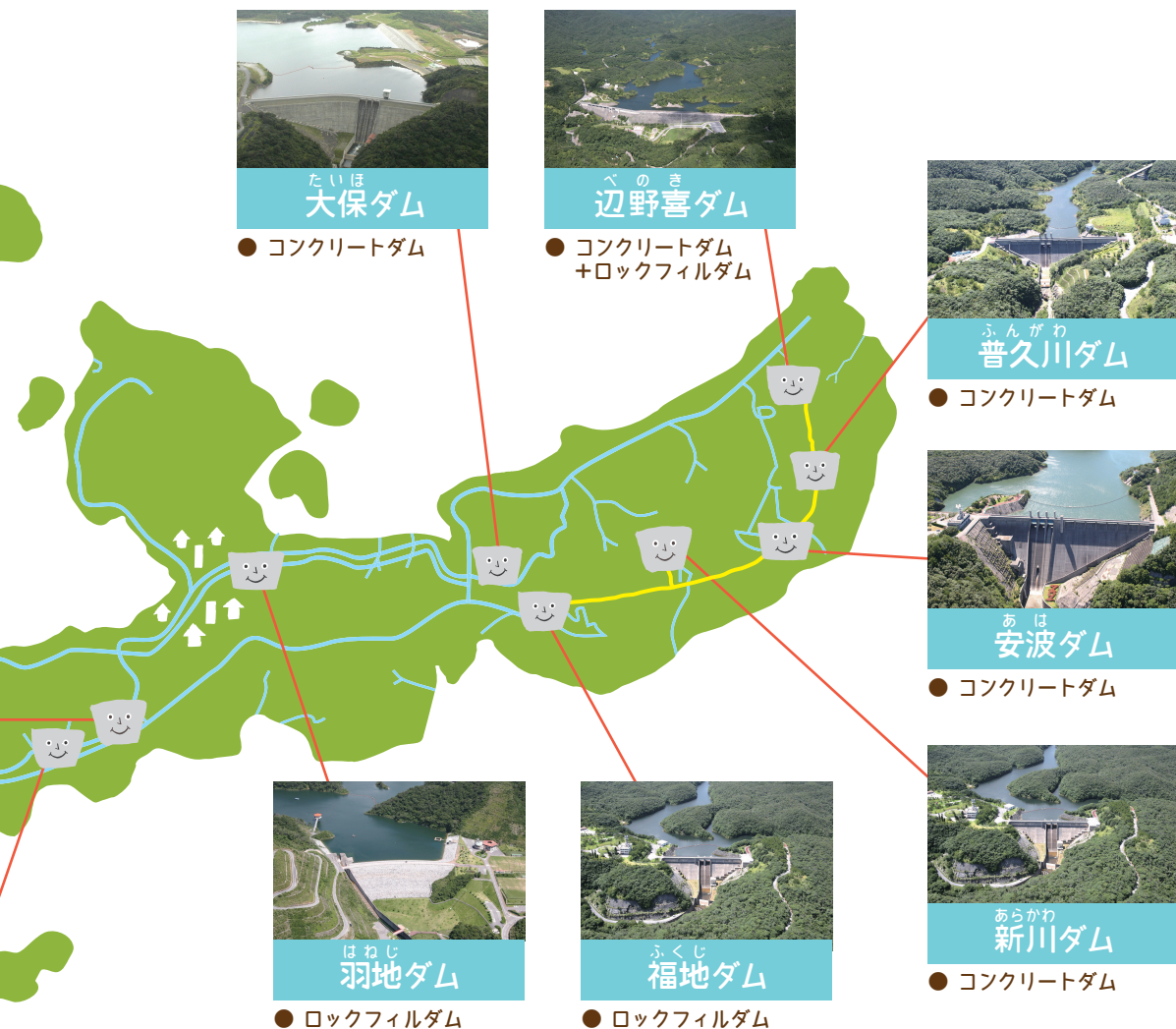


● コンクリートダム

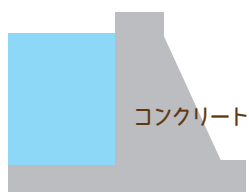


国が管理している多目的ダムは9あります。
その中でも福地ダムは一番多くの水を
貯められるんだよ！



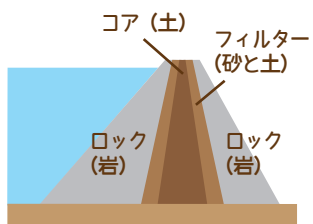


【代表的なダム型式コーナー】



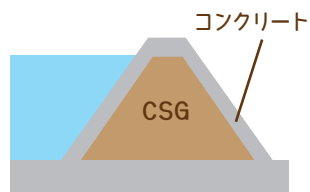
【コンクリートダム】

コンクリートでつくられたダムです。



【ロックフィルダム】

土や砂、岩で締め固めてできたダムです。



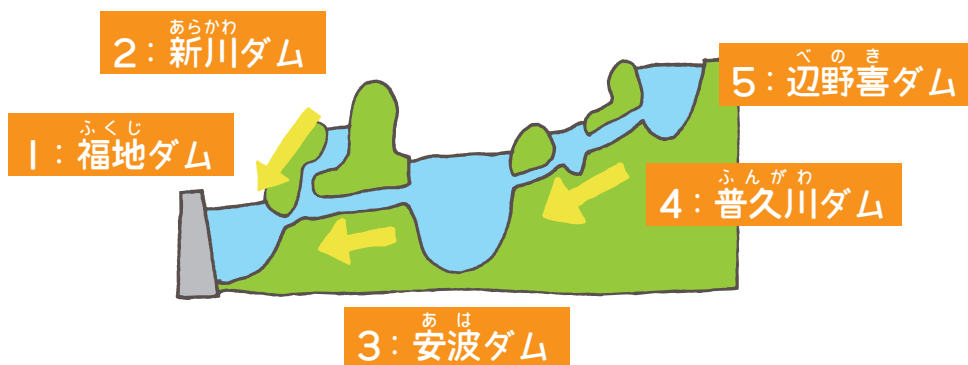
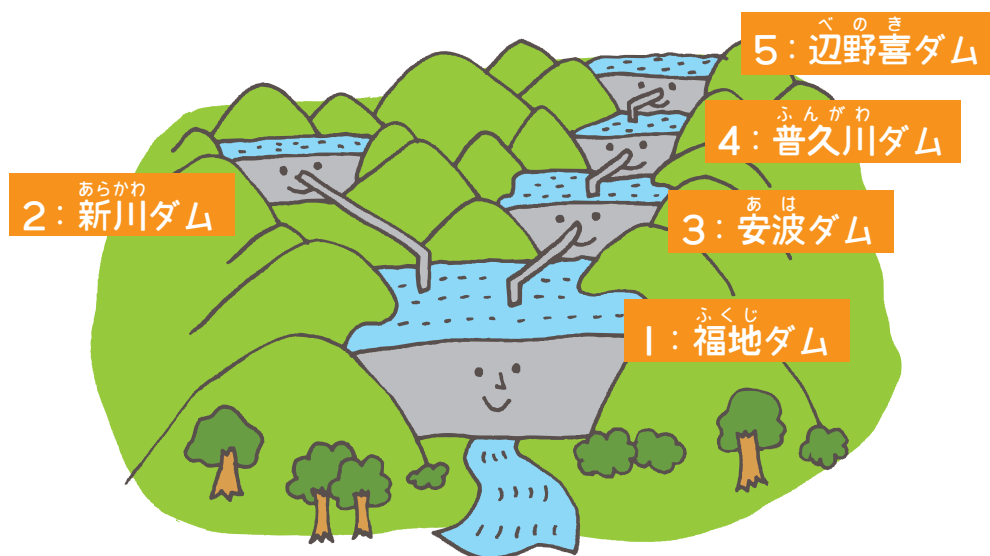
【CSGダム】

石や砂をセメントで固めた材料（CSG材）に外側をコンクリートでおおったダムです。



Q ダムとダムがトンネルで
つながっているのはなぜ？

A 小さいダム（新川・普久川・辺野喜）は雨が降るとすぐに
水がいっぱいになってしまうので、大きなダム（福地・安波）
に水を送って多くの水を貯められるようにしています。
このことは、「5ダムによる利水統合運用」と呼ばれています。





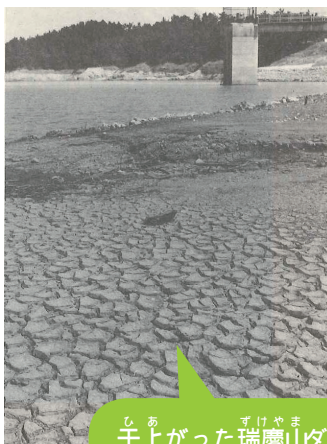
Q 水が足りなくなったらどうなるの？

A 雨が降らずに川や池や沼の水が少なくなったり、枯れたりすることを『渇水（かつすい）』といいます。『渇水』になると毎日の生活に大きな影響が出ます。
特に沖縄は島で大きな川や池などがないため、昔は雨が降らないとすぐに『渇水』になっていました。

昭和57年
5月11日
琉球新報



昭和57年
5月7日
琉球新報



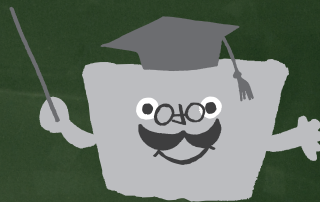
上がった瑞慶山ダム
昭和56年10月6日琉球新報

平成のはじめのころまでは毎年のように一日のうちで水道から水の出ない時間（断水）があったんだよ！



みんなはダムについてどこまで知ってる？

羽地ダム Q&A



全部で10問！
さあみんなで
やってみよう！

Q1

おきなわけん
沖縄県にダムは
いくつあるでしょう？

A およそ **50** あります。

また全国のダムの数は
約2700あります。

※一般財団法人日本ダム協会
HP「ダム便覧 2015」参照



Q2

一番多くダムがある都道府県
はどこでしょうか？

A **北海道** です。



北海道には約200のダムがあります。
一番少ないのは東京都で8つです。

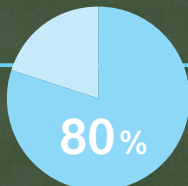
※一般財団法人日本ダム協会HP「ダム便覧 2015」参照

Q3

生活に使う水はダムから
なんわり
何割取っているでしょう？

A 約 **8** 割です。

昭和47年当時は
川の水と地下水を中心に
使っていましたが、現在では
ほとんどがダムからの水を使っています。
昔の沖縄はいつも水不足に
悩まされてきましたが、ダムができて
水が豊かに使えるくらしへと変化しました。



Q4

沖縄県のダムで一番
水をためることが
できるダムは？

A **福地ダム** です。

5500万 m^3 貯められます。25m
プール(約300 m^3)の約18万杯分
にあたります。ちなみにダムの高さも
県内で一番
高く91.7m
あります。



Q5

昔、羽地大川上流地区で畑を荒らして人々を困らせた動物は？

A **イノシシ** です。

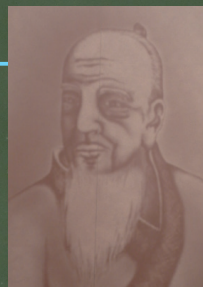
イノシシは今も付近の山でたまに見かけることがあります。
当時は田畑を荒らす害獣とされていたので、捕獲して食べていました。
イノシシを捕獲するためのおとし穴もつくっていたそうです。



Q6

たびたび洪水はらんをくりかえす羽地大川の改修工事をおこなって、豊かな水田地帯をつくった人物はだれでしょう。

A 蔡温(さいおん)です。



蔡温は中国に留学して風水地理学などを学び、主に土木技術の分野で大きな功績を残しました。特に羽地大川では約300年前に大雨により大洪水をおこし、この辺り一帯の水田は土砂に埋もれるなど大きな被害を受けました。川の改修工事の責任者として羽地に派遣された蔡温は、10万人余りの人々を集め、たったの3ヶ月で工事を完成させました。完成後、田んぼは立派に整えられ、洪水の心配もなくなったため人々は大変喜び、それまで以上に豊かな水田地帯になったということです。

Q7

なぜダムが必要なんですか？

A みんなの生活を守るためです。

大雨からまちを守ったり、飲み水や生活でいつでも水が使えるようにダムで水を貯めておく必要があります。そのためにダムが必要となります。

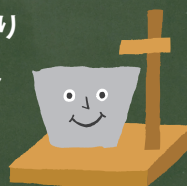


Q8

羽地ダムの高さはどのくらい？

A 66.5メートルです。

沖縄のダムでは、福地ダム、安波ダム、大保ダムに続いて、4番目に高いダムです。沖縄県庁の高さが約58mありますので羽地ダムは約8.5m高いことになります。



Q9

羽地ダムは日本で最初に
〇〇エネルギーを利用しています。
〇〇にはいる言葉は？

A 空気エネルギーです。

羽地ダムでは、クリーンエネルギーとして圧縮空気を利用しています。水の流れを利用して作り出した圧縮空気は、ダム管理に利用されています。

※ 詳しくはP19をみてね。

Q10

沖縄県にあるダムはどこが管理しているのでしょうか。

A 主に国や県が管理しています。

国が管理している洪水調節ダムは沖縄総合事務局が管理しています。それ以外のダムは主に沖縄県や企業局が管理しています。

ダムのお仕事

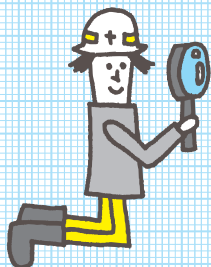
【ダムづくり編^{へん}】

ダムをつくるには、長い年月がかかります。
どこにつくるのか、水が貯められるのか、
どうやってつくるかなど、調査や計画を立ててから
ようやく工事に入ります。ダムをつくって水が
貯められるようになったら完成です。羽地ダムも
調査を開始してから30年以上かけて完成しました。

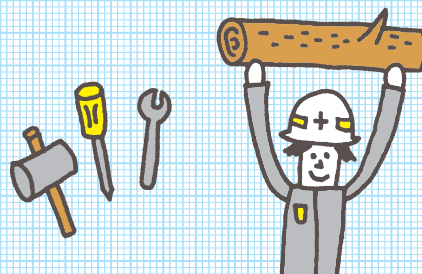


ダムをつくる場所を決めます

どこにダムをつくと安全にたくさん水が貯められるか調査^{ちようさ}をします。写真は羽地ダムが出来^{じやうたい}る前の山と川の状態です。



いろいろな生き物が
一緒に生きているんだね



ダムをつくる場所を掘ります

ダムをつくるために固い岩盤^{がんぱん}がでるまで地面^ほと山を掘ります。地面を掘って弱い岩盤や泥^{どろ}などを取り除きます。

生き物たちとの共存^{きやうぜん}

ーコウモリBOXー

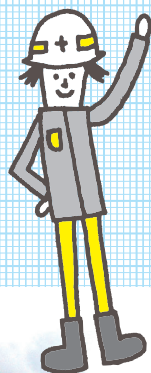
オキナワコキクガシラコウモリは名護市の天然記念物^{なごし}で、ダムをつくるための調査トンネルに生息^{せいそく}していました。しかし、ダムが完成すると調査トンネルが無くなるため、代わりに住めるように人工^{じんこう}の洞窟^{どうくつ}（コウモリボックス）をつくりました。洞窟の長さは約30mあり、現在もコウモリが生息^{せいそく}していることを確認^{かくにん}しています。





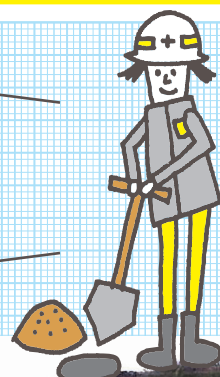
ダム本体の材料をまき出しします

ダムをつくる場所の山の周辺をコンクリートで保護して、写真のようにダムの材料である土と岩をまき出していきます。



様々な重機や道具を使い、ダムが作られているんだよ大切に長く使いたいね！

まき出しとは、運んできた材料を層にしてしき広げることだよ！



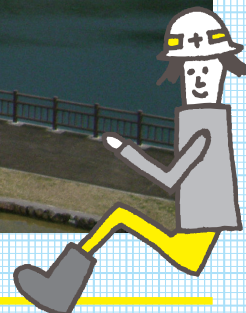
ダム本体を盛立てていきます

ダムの材料である土と岩を敷きならしてしめ固めていきます。写真はダムの形が出来上がったものです。



ダムの完成

外側を大きな岩で敷きつめてダム本体が出来上がった後に水を貯めてダムの完成です。



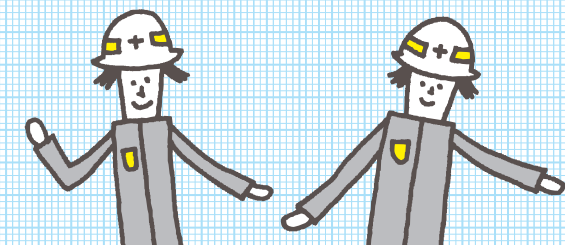
ダムのお仕事

【日々の仕事編^{へん}】

私たちはダムからいつでも安全・安心な水が送れるように普段から調査や点検などを行っています。
将来、ダム管理のお仕事をやりたい人はいるかな？



船に乗って貯水池（水を貯めている場所）やダム周辺を見回り、斜面が崩れていないか、ゴミが捨てられていないかなどを調べます。また、ダム湖の水が汚れていないかも調査しています。



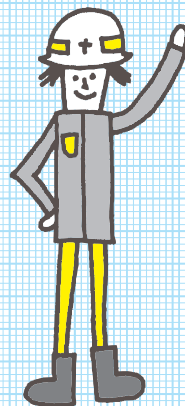
ダムに異常がないかを調べるためにダムの中に入ってくる水の量やダムが変形していないかを観測します。



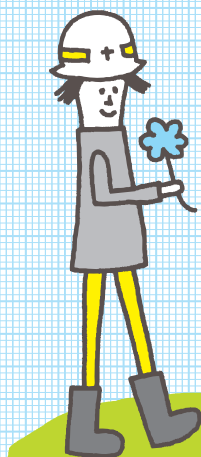
みなさんにもっとダムを知ってもらうために『ダム見学会』をおこなっていろいろな説明をします。



ダムに関わる
仕事の人々のおかげで、
安心して水が使えるんだね！



ダム湖の水質異常が発見できるようにダム湖
内で飼っている魚の状態を常に監視していま
す。また、早く発見できるようにダム湖の水
を室内へ送水して水槽でも監視をおこなって
います。



大雨や干ばつの時だけ
ではなく、日頃から
いろいろな仕事か
あるんだね！



大雨が降った後にダム下流の川の護岸などが
崩れていないかなど異常がないか巡視します。

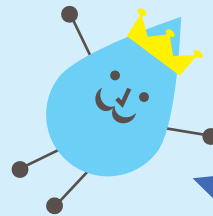
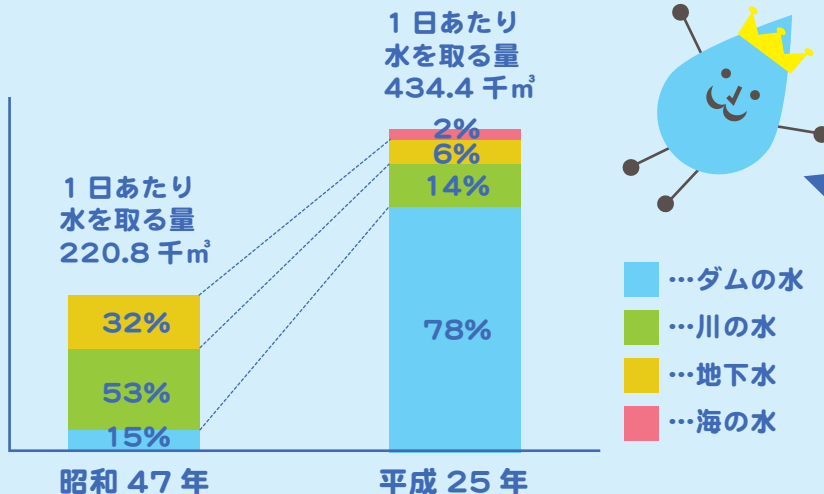


ダム管理支所ではダムの貯水量や雨の量、川
の水位など自動的に観測して、遠くはなれた
ところでもすぐわかるように情報を発信して
います。そのため機器が正常に動くように常
に点検を行っています。

おいしい水を守るために

💧 昔と比べてみよう！水はどこからとってるのかな？

昔は川や地下水からほとんど水を使っていましたが、現在はダムからの水を8割使っています。



わたしたちの生活で使う水は8割がダムの水なんじゃ！

💧 水を上手に使うための方法とは？

水は有効に使うため、水を取る順番があります。川の水や井戸水などから先に取水し、足りない分は水を多く貯めているダムや海水淡水化施設などから取水します。

① 川の水、井戸水

水の貯められない川の水や井戸水を最初に利用。



② ダム

水が足りない分は、水を多くためているダムから取水します。



③ 海水淡水化施設

さらに水が足りなくなると、海水淡水化施設※などからも取水します。



※ 海の水から塩分を除いて水道水に変える施設です

💧 ダムを楽しむために様々な活動に取り組んでいます！

私たちは、北部「やんばる」の自然（川や森）から多くの水を利用しています。これからもおいしい水を守っていくために様々な取り組みが行われています。



ダムツーリズム

ダム湖でカヌー体験をすることで、やんばるの自然を体感。



ゴミ拾い

ゴミ拾いや緑を育てたりすることでみんなでやんばるの自然や水を守る。



学習

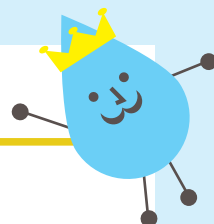
ダム資料館でダムの役割や水の大切さなどを学ぶ。



川遊び

ダム下流の川でいろいろな生物を観察して水辺の自然とふれあう。

知ってる？ ダムカード、インフラカード



ダムカード

みなさんにダムのこと知ってもらうため、「ダムカード」を作成しています。ダムを訪問すると1人1枚もらえます。沖縄のダムだけでなく、全国のダムで配布しています。各ダムの情報が紹介されているので、ぜひ集めてみよう！



インフラカード

ダムなどのインフラ※施設は、観光施設にもなっています。施設を理解してもらうための「沖縄観光インフラカード」を発行しており、ダムや道の駅などに行くとカードをもらうことができます。カードを集めながら、沖縄のみりょくを感じてみましょう！



※インフラストラクチャー（infrastructure）の略でダムや道路など社会生活に必要な構造物を意味します。



羽地ダムの新しい技術の紹介

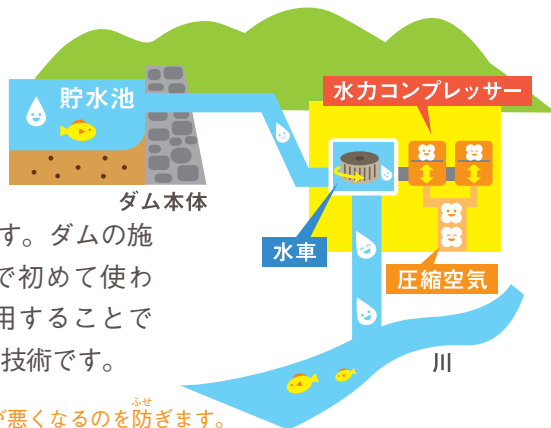
羽地ダムには、様々な新技術が使われているよ!!
みんなで見てみよう!

▶ ダム用空気エネルギーシステム (DAS ; Dam Airenergy System)

羽地ダムでは、水が高いところから低いところへ流れ落ちる力を利用して水車を回し、圧縮空気をつくっています。この圧縮空気を利用してダムの湖をきれいに保ったり※1、噴水に利用したりダム施設でいろいろと利用しています。

これをダム用空気エネルギーシステムといいます。ダムの施設で圧縮空気を利用する技術は羽地ダムが世界で初めて使われました。このシステムは空気エネルギーを利用することで二酸化炭素が発生しないので地球にとってもやさしい技術です。

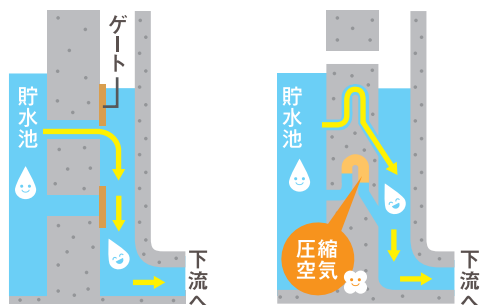
※1 貯水池の酸素を増やして鉄やマンガンの溶出を抑え水質が悪くなるのを防ぎます。



▶ 取水設備 (空気ロック式ゲートレス取水設備)

ダムに貯めた水をみんなの家や学校そして田畑へ送るために取水塔とよばれる設備から水を取っています。ダムの水を出したり止めたりするためには鉄でつくられた扉で開閉することが多いのですが、羽地ダムでは空気の利用して水を出したり止めたりしています。これは、日本で初めての技術で空気ロック式ゲートレス取水設備※2 といいます。空気を利用することで設備を維持するための費用を安くすることができます。

※2 取水設備に逆U字型の管路を設置して、その部分に圧縮空気を注入することによって水が出ないようにします。



ゲート方式 (通常)

鋼鉄製のゲートを開閉することで水を出したり止めたりします。

空気ロック方 (羽地)

逆U字の形をした管内の圧縮空気を出し入れすることで水を出したり止めたりします。

▶ またきな大橋 (エクストラドーズド橋)

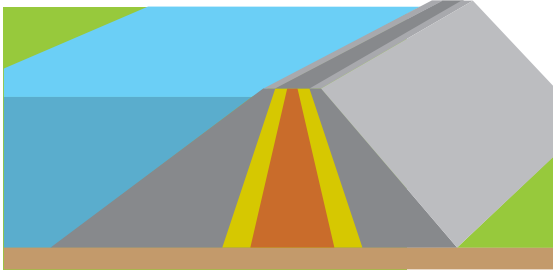
長さ200m、高さ26.4mのまたきな大橋は、エクストラドーズド橋と呼ばれる新しい形の技術が使われています。これは斜張橋※3 に比べて真ん中の柱部分の高さを低くすることで、できるだけお金をかけずにつくられました。また、赤と白のグラデーションは全国でも開花が早い名護市の桜をイメージしています。



※3 橋にある高い塔から、直線に斜めに張ったケーブルで吊り下げている橋のことです。

羽地ダム資料集

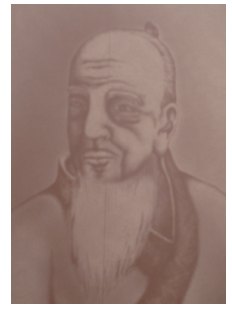
新聞づくりや調べ学習に活用しよう！



だんめんず
[羽地ダム断面図]



[ホタルくん]



さいおん
[蔡温]



[羽地ダムを空からみた写真]



[羽地ダムを下からみた写真]

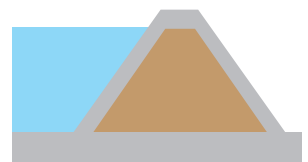


[コウモリの写真]

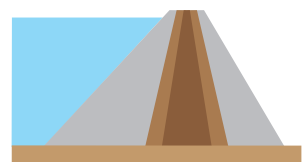
やくわり
[ダムの役割]



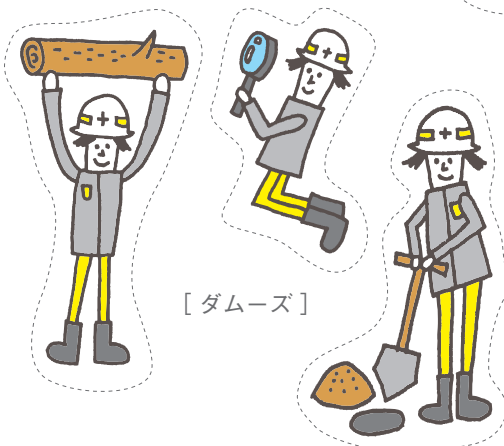
[コンクリートダム]



[CSG ダム]



[ダムさん] [ロックフィルダム]



[ダムーズ]

[すいてキング]



MEMO

自分で気になったことやスケッチなどをメモしよう！
オリジナルのスタンプもあるので押してみるのも GOOD！



DAM-DATA



羽地ダム Haneji Dam

所在地	おきなわけん なごし 沖縄県名護市
河川名	羽地大川水系羽地大川
型 式	ロックフィルダム
ゲート	ゲートレス（自然越流方式） しぜんえつりゅうほうしき
堤 高	66.5m
堤頂長	198m
総貯水容量	1980 万 m ³
管理者	ないかくふおきなわそうごうじむきょく 内閣府沖縄総合事務局
本体着工年	1996 年
本体完成年	2005 年

【世界初の技術】

○ダムエア-エネルギーシステム（DAS）
ダムから流す水のエネルギーを利用して圧縮（あつしゆく）空気を造りだしています。造った圧縮空気は、ダム湖の水をきれいに保つために循環（じゅんかん）させたり、噴水（ふんすい）に利用したりしています。

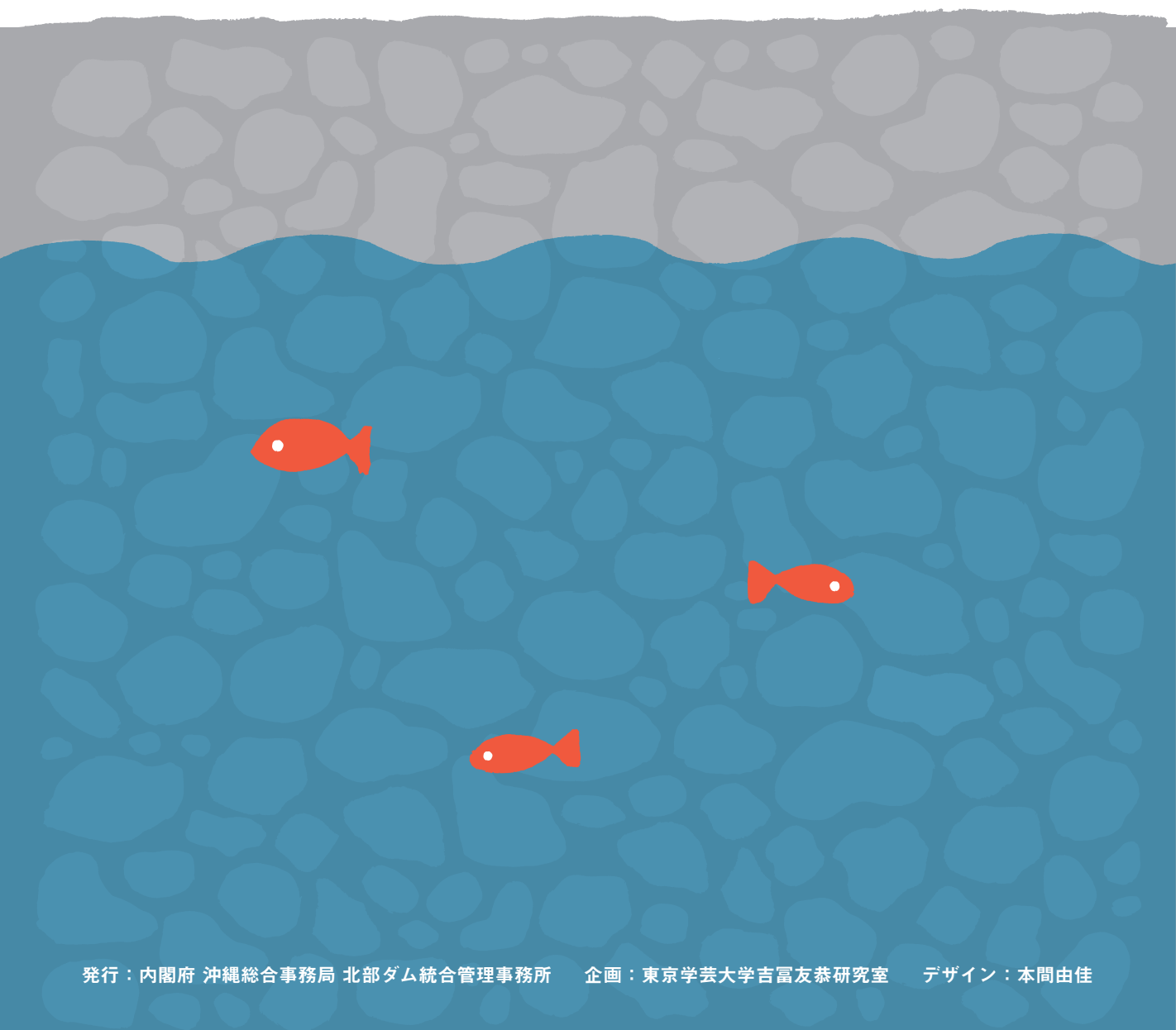
【日本初の技術】

○空気ロック式取水設備（しゅすいせつび）
ダム湖の水を取水する設備で、通常は鋼鉄（こうてつ）のゲートの開け閉めで水量を調節（し）していますが、羽地ダムは圧縮空気を使って水量を調節しています。

【豆知識】

羽地ダムは名護市街地に近く、堤体（ていたい）近くにはグラウンドとして利用できる多目的広場があり、自然の中でスポーツを楽しむことの出来る癒（い）しの場所でもある。





全国で小型船舶に対する安全キャンペーンを実施！
～小型船舶の安全確保に向けて～

国土交通省では、警察庁、海上保安庁、日本小型船舶検査機構などの協力を得て、本年4月20日から9月30日までの間、小型船舶の事故削減に向けた取組として、リーフレットの配布等による周知・啓発、マリーナ・漁港等でのパトロール指導を行う小型船舶の安全キャンペーンを実施します。

沖縄総合事務局においては、小型船舶の安全確保にむけて、下記のとおり、安全キャンペーンを実施します。

我が国の周辺では、毎年2,000隻以上の船舶事故が発生しており、その7割以上が小型船舶によるもので、沖縄総合事務局管内でも平成27年に100隻以上の船舶事故が発生しており、全国と同様の傾向にあります。特にゴールデンウィーク前から初秋にかけては、小型船舶の事故が多発していることから、平成19年度より小型船舶に対する安全キャンペーンを実施しております。昨年度には、管内のマリーナ・漁港等35箇所で開催活動を実施し、736隻のパトロール指導を実施しました。

記

1. 実施期間

平成28年4月20日（水）から同年9月30日（金）まで

2. 実施内容

- ・以下について、マリーナ・漁港等へのパトロール指導、リーフレットの配布等による周知・啓発に取り組みます。

（指導内容）

- ① 発航前点検の実施など小型船舶操縦士の遵守事項の徹底
- ② 船舶検査の適切な受検の確認・指導
- ③ 小型船舶操縦士免許の適切な受有の確認・指導 等

- ・小型旅客船について、消防設備及びライフジャケットの適切な備え付けなどについて、安全指導を実施します。

3. 実施主体

沖縄総合事務局の職員が、第十一管区海上保安本部、日本小型船舶検査機構沖縄支部などの協力を得つつ、指導を実施します。

（参考）小型船舶とは総トン数20トン未満の船舶。

総トン数とは容積の単位。1トンは約2.8m³。

【問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局運輸部船舶船員課 西・宜保・宮城

TEL 098-866-1838（直通）

最近の小型旅客船の事故例について

① 救命胴衣未着用による事故の事例

日時：平成 27 年 4 月

場所：愛媛県今治市沖

概要：航行中に火災を起こし、救命胴衣を着用せずに海中に飛び込み乗客 2 名が死亡した。

② 乗下船時の海中転落事故の事例

(事例 1)

日時：平成 27 年 8 月

場所：徳島県鳴門市

概要：左舷のみ係留索を使用して停泊中にスロープと岸壁に隙間ができ、自転車を押して乗船している旅客が転落し怪我をした。

(事例 2)

日時：平成 27 年 5 月

場所：愛媛県上島町

概要：係留索を使用せず停泊中にスロープと岸壁に隙間ができ、車両が転落した。乗車していた乗客 2 名は怪我等なし。

③ 一酸化炭素中毒事故の事例

(事例 1)

日時：平成 24 年 12 月

場所：山梨県 山中湖

概要：釣り場で後進運転して錨船作業中に船外機から水中に排出される排気ガスが旅客室床に蓋の開いた釣りホールより侵入し、小学生 3 名が一酸化炭素中毒となった。

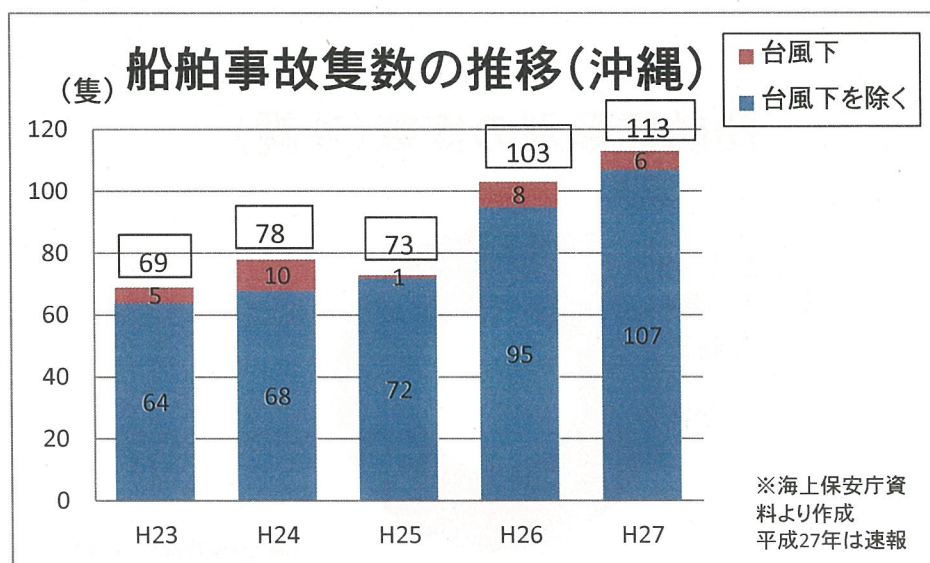
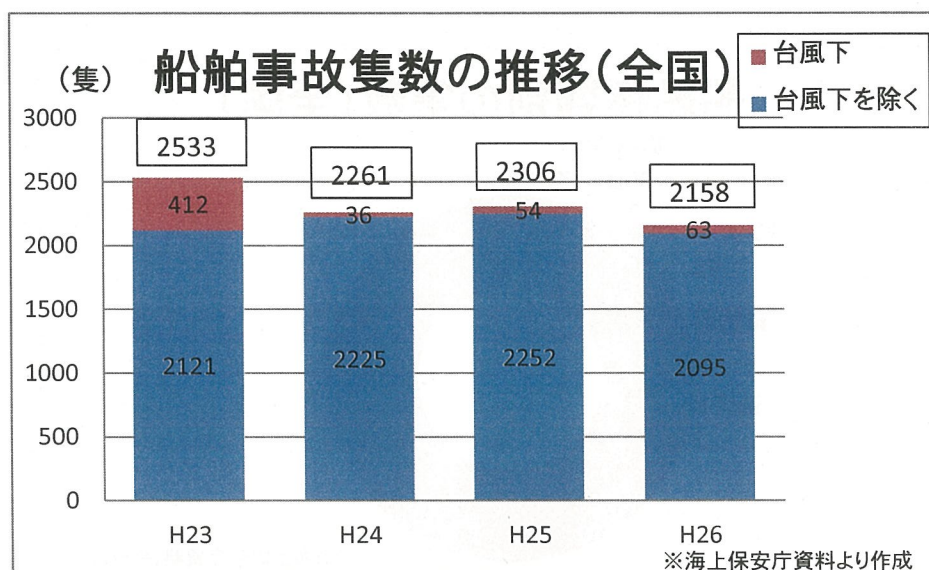
(事例 2)

日時：平成 25 年 1 月

場所：山梨県 山中湖

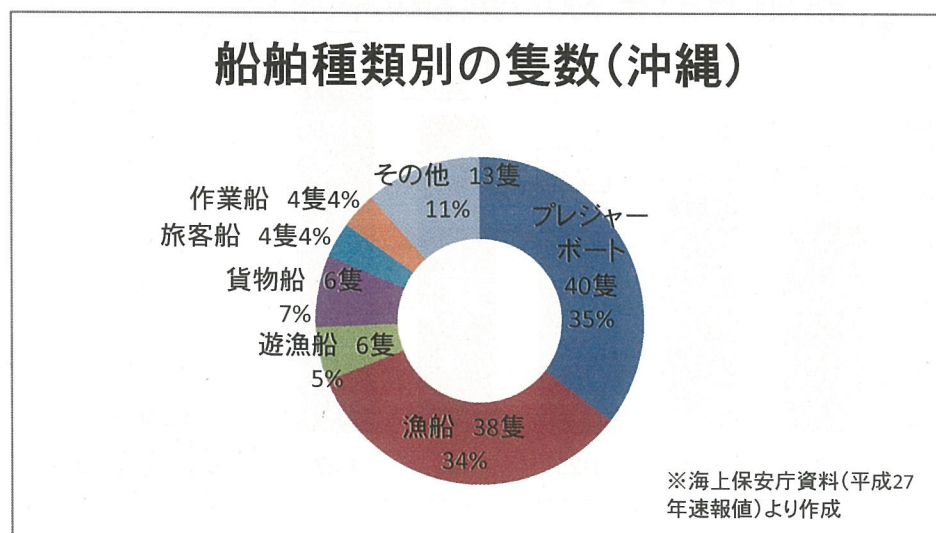
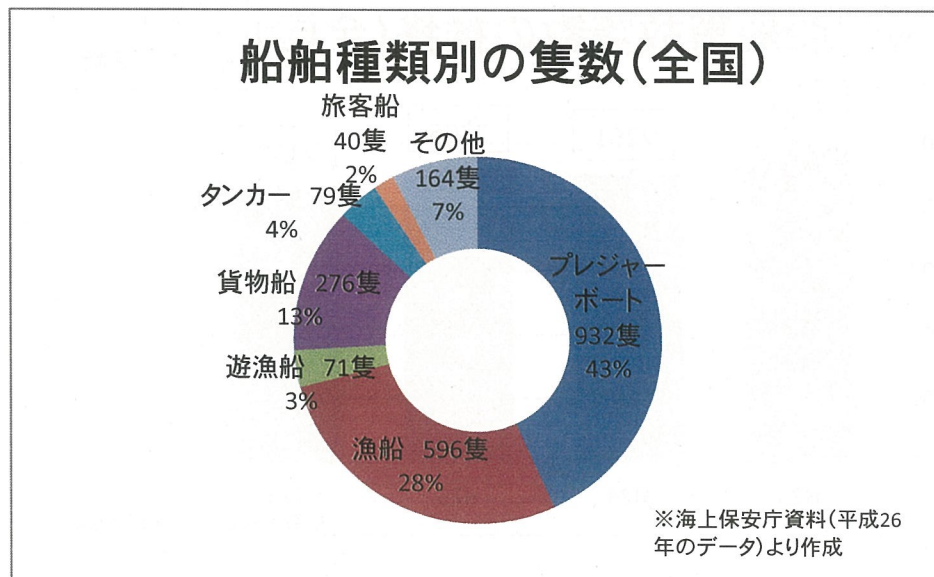
概要：釣り場で後進運転して船外機から水中に排出される排気ガスが旅客室床に蓋の開いた釣りホールより侵入し、釣り客 3 名が一酸化炭素中毒となった。

1. 船舶事故隻数の推移



- ・全国では毎年、2,000隻以上、沖縄では平成26年以降100隻以上の船舶事故が発生
- ・全国の船舶時の減少傾向にあるが、沖縄は増加傾向

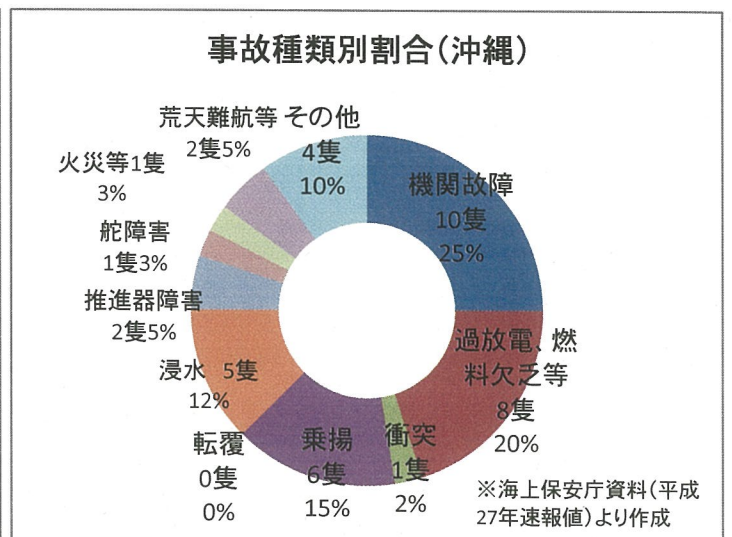
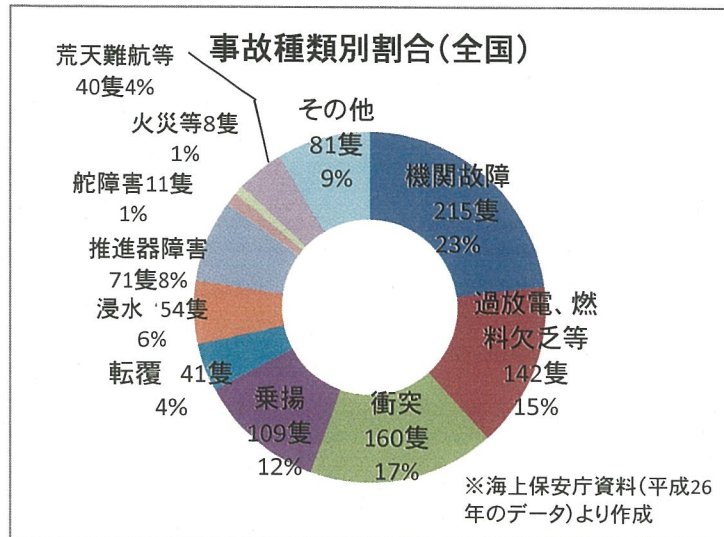
2. 船舶種類別隻数



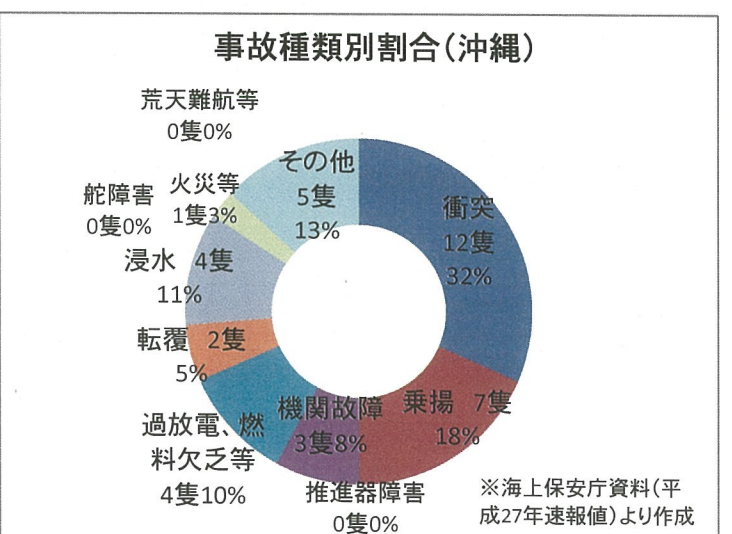
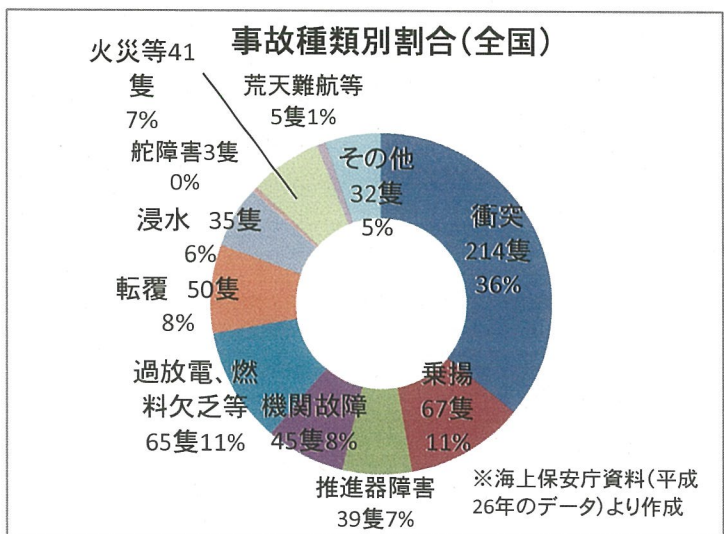
- ・プレジャーボート、漁船及び遊漁船の船舶事故割合は約7割で、全国と沖縄は同じ傾向

3. プレジャーボート及び漁船の事故種類別割合

① プレジャーボート



② 漁船



- ・全国、沖縄ともプレジャーボートの事故種類は機関故障、バッテリーの過放電、燃料切れが多く、出港前に点検すれば防げる事故が多い
- ・全国、沖縄とも漁船の事故種類は、衝突及び乗揚が多く、見張りを行えば防げる事故が多い